

第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略



令和7年4月策定

令和8年4月改訂

岐阜県美濃加茂市

目次

1 第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本方針	1
(1)目標	
(2)構成.....	2
2 第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の政策分野.....	3
(1)「人の未来をつくる」	
(2)「人の流れをつくる」.....	4
3 第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の管理および評価	5
4 第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ	6
5 第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の趣旨	7

1 第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本方針

本市は、美濃加茂市人口ビジョンにおいて、2035年に人口60,000人をめざしています。今後、持続可能な自治体として維持していくためには、市民にとって「住みやすく 住み続けたい魅力あるまち」であるとともに、市外から「住んでみたいまち」として認識されることが必要です。

本戦略は、「家庭教育」、「幼児教育」、「学校教育」、「社会教育」など、様々な分野の教育に、子育て支援に関する政策も含め、「広義の教育」として注力し、関連する政策を重点的に推進します。

これからの社会を生きていく力を養うためには、なにを学ぶかとあわせて、どのように学ぶかが大切です。

本戦略には、本市の魅力的な自然や歴史、文化などを生かし、子ども達が主体的に学び、多様な人々との協働を経験し、社会の変化に対応する力を身につけ、様々な体験で得た感性(本市特有の教育)をもって、世界に羽ばたけるような人に成長してほしいという思いを込めています。そして、子ども達の感性に響く教育は、ふるさとへの誇りや愛着を高め、『社会の一員』として、より良いまちの未来をつくる原動力にもなります。

本戦略は、これまでの取組や総人口が増加傾向にある実績を踏まえ、他自治体にはない本市ならではの政策をあらためて振り返り、再認識・再評価しブラッシュアップすることで、「魅力あるまち」であるということを市内から実感され、市外からも認識されることを目的とします。「広義の教育」を市民のウェルビーイング(満足度・幸せ度)向上につなげて若い世代の定住を図り、広く市外へも本市の魅力を伝え、転入を促進します。

(1) 目標

「住み続けたい、住んでみたいと思える魅力あふれるまちをつくる」

【数値目標】

指標	現状(2023年度)	目標(2025年度～2029年度)
人口の社会増減数(累計)	291人(2023年度の単年度値)	1,700人(5年間の累計)

指標出典: 毎月的人口移動記録(市民課所管)

(2)構成

本戦略には2つの政策分野を設定しており、それぞれの重要業績評価指標達成に資する事業を「個別事業」といいます。

「個別事業」の展開により、各政策分野の目的である「人の未来をつくる」と「人の流れをつくる」を成し遂げ、基本方針に掲げる目標の達成につなげます。

目 標

住み続けたい、住んでみたいと思える
魅力あふれるまちをつくる

政策分野①

人の未来をつくる

政策分野②

人の流れをつくる

2 第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の政策分野

(1) 「人の未来をつくる」

- 未来を担う人材の育成と成長を促すため、若い世代の確かな学力の向上を図るとともに、本市でしか得ることができない魅力あふれる教育を推進することで、明るい未来に向かって羽ばたける人材を育みます。
- 多様性を尊重し、誰とでも安心して一緒に暮らすことができる社会をめざし、個性と能力を發揮して多様な分野で活躍するために必要な適応支援を実施します。
- より多くの人々が安心して子育てに関われる社会の実現に向け、不安の軽減や環境の整備、地域コミュニティとの連携を進めます。

【重要業績評価指標】

指標	現状(2023年度)	目標(2029年度)
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合 (小学6年生・中学3年生への全国学力・学習状況調査より)	小)76.0% 中)71.1%	小)85.0% 中)85.0%

※全国学力・学習状況調査(国立教育政策研究所-教育課程研究センター)より…美濃加茂市第6次総合計画後期基本計画採用 KPI

【個別事業】(毎年度必要な事業の追加等を行います)

①地域教育推進事業	⑦生物多様性地域連携促進事業	⑬子育て支援事業
②次世代定着人材確保種まき事業	⑧「みる」スポーツ推進事業	⑭幼児療育支援事業
③若者と未来をつなぐ事業	⑨教育相談・適応指導教室推進事業	⑮保育園 ICT 活用事業
④学習活用事業	⑩参加支援事業	⑯里山保育事業
⑤科学のふしぎ解決学習推進事業	⑪プレスクール事業	
⑥豊かな体験推進事業	⑫のぞみ教室推進事業	

(2) 「人の流れをつくる」

- 人と人の新たな交流やにぎわいの場を創出するため、「里山」、「河川空間」、「歴史」、「多文化交流」など、本市の特徴を活用した取組を実施します。
- 住みやすく、働きやすい環境をつくるため、職住近接につながる取組を実施します。
- 誰にとっても魅力的である、便利で安心して暮らし続けることができるまちをめざし、様々な分野における市民の利便性向上に取り組めます。
- シビックプライドの醸成と市外からの憧れをめざし、本市の様々な魅力を戦略的に発信します。

【重要業績評価指標】

指標	現状(2023年度)	目標(2029年度)
市HPアクセスユーザー数(市外年間)	346,464 人	430,000 人

指標出典:市HPアクセス数(アクセス解析ソフトによる)

【個別事業】(毎年度必要な事業の追加等を行います)

①里山活用事業	⑧国際交流事業
②里山まちづくり事業	⑨移住して暮らし始めるための支援事業
③古民家等による地域資源活用事業	⑩女性活躍推進事業
④Kiso ジオパークにぎわい創出事業	⑪姫 Biz 戦略事業
⑤かわまちづくり整備事業	⑫あい愛バス運行事業
⑥中山道観光推進事業	⑬スマホ市役所事業
⑦牧野ふれあい広場事業	⑭シティプロモーション事業

3 第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の管理および評価

(1)効果検証

本戦略は、目標および各政策分野に目標数値を設定して進捗状況を確認するとともに、その検証結果を踏まえて、目標値修正や事業内容等必要な見直しを行うことで、取組の安定的な継続および更なる発展を促し、より効果的な戦略の推進につなげます。

効果検証を行うにあたり、「産(産業)、学(学校)、金(金融)、労(労働)、言(言論)、国(国際)」の各分野の有識者から構成される「総合戦略推進アドバイザー」を選任します。アドバイザーの提言・助言を受けながら、戦略の目標達成度や施策の効果を検証し、改善点を洗い出します。検証結果については、市公式ホームページで公表します。

(2)PDCA サイクル

本戦略を実現するために、改善を加えながら推進していく観点から、PDCA サイクルを確立し運用します。設定した数値目標等を基に、実施した政策分野の取組の効果を検証し、必要に応じて本戦略を改訂するという一連のプロセスを実行します。

PDCA サイクルの確立と運用によって、より効果的な取組の推進を実現します。



4 第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけ

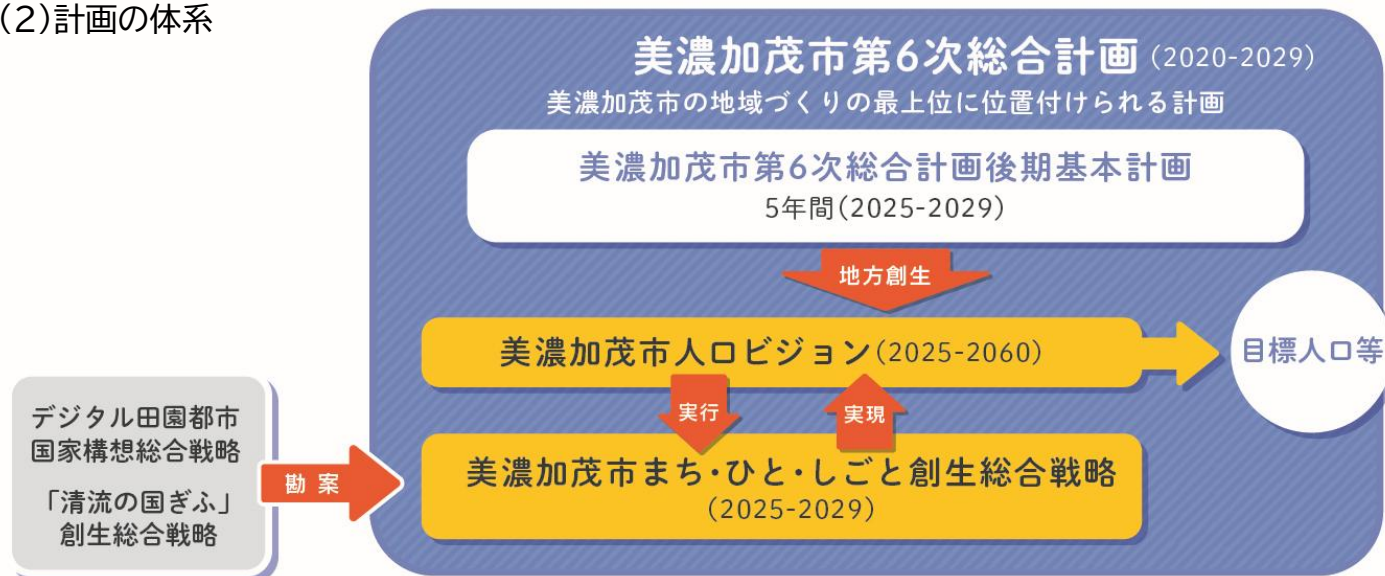
本市は、令和2年度から、「美濃加茂市第6次総合計画」をスタートさせ、持続可能なまちの実現に向けて取組を進めています。

本戦略では、美濃加茂市人口ビジョンで示した目標に向け、第6次総合計画後期基本計画における基本構想で描いた将来像の実現に向けた12分野の政策である「学校教育」、「子育て支援」、「多文化共生」、「地域再生」、「産業振興」の取組内容を中心に、人口の将来展望や人口減少に伴う地域活力低下などの課題を見据え、デジタル技術も活用した地方創生の取組によって、地域の課題解決を図ることを目的として策定します。

(1) 計画期間

令和7(2025)年度から令和11(2029)年度までの5年間とします。

(2) 計画の体系



5 第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の趣旨

国は、地方における人口減少を契機とした、「人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」というリスクを鑑み、平成26年11月に『まち・ひと・しごと創生法(以下「法」といいます。)』を施行しました。この法律の目的は、「潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会の形成、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業の機会の創出を一体的に推進すること」とされており、人口減少や東京圏への人口集中を食い止め、地方を活性化するための基本理念などを定めています。こうした基本理念のもと、「東京一極集中の是正」「若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現」「地域の特性に即した地域課題の解決」を盛り込んだ基本的な考え方として、平成27年を初年度とする「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

本市でも法第4条に基づき、美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年度～令和元年度)、および第2期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年度～令和6年度)を策定し、人口減少・少子高齢化の解消に向けて各種施策に取り組んできたところです。

国においては、デジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会をめざすデジタル田園都市国家構想の実現に向け、デジタル田園都市国家構想総合戦略を令和5年度からスタートさせました。この戦略では、「地方に仕事をつくる」、「人の流れをつくる」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「魅力的な地域をつくる」を位置づけており、同時に地方のデジタル実装の下支えとして、「ハード・ソフトのデジタル基盤整備」、「デジタル人材の育成・確保」、「誰一人取り残されないための取組」を強力に推進することとされています。

こうした国の動きを受け、岐阜県においては、多様化する諸課題に的確に対応しながら「清流の国ぎふ」づくりの歩みをゆるぎなく進め、幸せと確かな暮らしのある「ふるさと岐阜県」をめざすため、令和5年度から5年間の政策の方向性を示す計画として、『「清流の国ぎふ」創生総合戦略』を策定し、各種政策に取り組んでいます。

本戦略は法に基づき、以上のような国や岐阜県の総合戦略を勘案し、社会情勢の変化、これまで実施してきた取組の成果や課題を踏まえて策定するものです。

第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(事業編)



令和7年4月策定

令和8年4月改訂

岐阜県美濃加茂市

目標「住み続けたい、住んでみたいと思える魅力あふれるまちをつくる」

目次

「人の未来をつくる」

①地域教育推進事業	1
②次世代定着人材確保種まき事業	2
③若者と未来をつなぐ事業	3
④学習活用事業	4
⑤科学の心しぎ解決学習推進事業	5
⑥豊かな体験推進事業	6
⑦生物多様性地域連携促進事業	7
⑧「みる」スポーツ推進事業	8
⑨教育相談・適応指導教室推進事業	9
⑩参加支援事業	10
⑪プレスクール事業	11
⑫のぞみ教室推進事業	12
⑬子育て支援事業	13
⑭幼児療育支援事業	14
⑮保育園ICT活用事業	15
⑯里山保育事業	16

「人の流れをつくる」


①里山活用事業	17
②里山まちづくり事業	18
③古民家等による地域資源活用事業	19
④Kisoジオパークにぎわい創出事業	20
⑤かわまちづくり整備事業	21
⑥中山道観光推進事業	22
⑦牧野ふれあい広場事業	23
⑧国際交流事業	24
⑨移住して暮らし始めるための支援事業	25
⑩女性活躍推進事業	26
⑪姫Biz戦略事業	27
⑫あい愛バス運行事業	28
⑬スマホ市役所事業	29
⑭シティプロモーション事業	30

人の未来をつくる① 地域教育推進事業

目的	学習に関する支援や居場所づくりに加え、同学年の他校の児童と交流する機会を創出することにより社交性や行動力を養うこと。						
対象	市内小学校低学年(1年生～3年生)の児童	主管	市民協働部ひとづくり課				
概要	<p>○楽習ひろば 生涯学習センター教室、加茂野教室、牧野教室の3か所において、地域教育コーディネーターを配置して学校と地域との連携を図り、地域資源を生かした教育を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援活動(漢字検定、英語活動、科学実験など) ・施設体験活動(アクアトト、サイエンスワールド、化石学習、名古屋市科学館) ・地域体験活動(昔あそび、栗きんとんづくり、堂上蜂屋柿づくりなど) 						
KPI	地域教育推進事業「楽習ひろば」参加者数(年間延べ人数)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		4,200	4,200	4,400	4,400	4,500	
R5実績値:4,166							



人の未来をつくる② 次世代定着人材確保種まき事業

目的	地元企業の魅力を伝えるバスツアーやものづくり体験イベントを開催し、子どもや保護者に地元就業への関心を促し将来の就労人材の育成とともに、受け入れ企業側の地元・企業への誇り・定着への意識向上を図る。						
対象	市内小中学生とその保護者	主管	産業振興部商工観光課				
概要	○事業所の見学や、ものづくり体験を通じた地域企業の魅力を直接体感できる企業訪問 ○バスツアーの開催 ○バスツアーのものづくり体験に特化した、集合型ものづくり体験イベントの開催						
KPI	地元企業への興味・関心の向上率(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		※	70	85	100	100	
R5 実績値※							


※令和8年度開始の KPI のため令和5年度の実績値、令和7年度の目標値はなし

人の未来をつくる③ 若者と未来をつなぐ事業


目的	地域と関わりながらさまざまな活動に取り組み、社会課題を解決することができる人材を育成すること。						
対象	市内の小学生から高校生、20代を中心とした青年層	主管	市民協働部ひとづくり課				
概要	<p>○地域活性化スクール 高校生の活動支援フィールドワークやワークショップをとおして、若者に新たな気づきや学びのフィールドを提供するプログラムを実施します。</p> <p>○STEAM 教育 地域と関わりをもちながら STEAM 教育(「科学:Science」、「技術:Technology」、「工学:Engineering」、「芸術・リベラルアーツ:Art」、「数学:Mathematics」の5つの分野を統合的に学ぶ教育)を展開します。</p> <p>○若者活動支援事業 居場所づくりを中心に、地域と関わりながら成長しようとする若者の活動を支えます。</p>						
KPI	市が開催する若者に向けた取組に関わった若者の人数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		100					
R5 実績値:57		100					




人の未来をつくる④ 学習活用事業

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での教育に加え、博学連携機関としての文化の森の活用をとおして学習に対する関心意欲を一層高め、知識理解をより確実にすること。 ・博物館を身近に感じることで、この地に根付く民俗的な暮らしへの理解を深め、地域をよく知り、愛着と文化的な資質を持つ市民を育むこと。 						
対象	幼児・児童・生徒	主管	市民協働部文化振興課				
概要	<p>○学校活用 各学校の年間指導計画に位置付けられ、各学校と連携しながら、文化の森の「人・もの・こと・場」を活用し、ここでしかできない活動をとおして得られる気づきや感動を大切に、深い学びを提供します。</p> <p>○文化の森わくわくプログラム 博物館としての専門性を生かした講座やイベントを休日に開催し、生涯をとおして博物館に関わるきっかけづくりを実施します。</p> <p>○中学生のスタッフ体験 ボランティアや職業体験の受け入れにより、博物館の運営に触れる機会を創出します。</p>						
KPI	文化の森の学習をきっかけに、他の博物館や美術館に出掛けたことがある人の割合(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値			11	12	12	13	13
R5 実績値:10.8							

人の未来をつくる⑤ 科学のふしぎ解決学習推進事業


目的	<ul style="list-style-type: none"> ・自然・科学分野での体験学習等の機会を充実させ、児童生徒が一層自然・科学技術に対する興味関心をもち、視野を広げ、生きる力の素地をつくること。 ・普段の授業では体験できない活動をとおして、児童生徒の科学への興味関心を高めること。 ・自ら解決しようとする探究心を高め、解決方法を学び、より発展的な学習や他領域への学習へと学びの意欲をつなぐこと。 						
対象	市内各小中学校児童生徒、保護者	主管	教育委員会事務局学校教育課				
概要	<p>○自然・科学分野の体験活動 自然・科学技術のふしぎや面白さを肌で感じることができるような体験活動を意図的に取り入れ、児童生徒の興味関心を高めることに重きを置いた取組を実施します。</p> <p>○専門家による講演会や実験活動 さまざまな分野の専門家から話を聞く機会や授業では取り扱うことのない高度な実験に触れる機会を創出し、児童生徒の自然・科学技術に対する興味関心を高めます。</p>						
KPI	生活習慣アンケート「学校の授業はたのしいですか」のアンケート質問に肯定的に回答した児童生徒の割合(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値							
R5 実績値:92			95	95	97	97	99

人の未来をつくる⑥ 豊かな体験推進事業


<p>目的</p>	<p>美濃加茂市の自然・文化資源や科学のふしぎに触れて学ぶ体験活動を行うことで、自己肯定感を高めたり、自分の新たな可能性に気付いたりして、自分の将来に対して明るい展望をもち、夢や目標を抱くことができる児童生徒を育む。</p>										
<p>対象</p>	<p>市内小中学校児童生徒</p>	<p>主管</p>	<p>教育委員会事務局学校教育課</p>								
<p>概要</p>	<p>○ふるさとの自然に触れる体験研修 ふるさとの自然を肌で感じる活動をとおして、児童生徒が仲間と協働し、主体的に取り組む姿勢やコミュニケーション能力、自己解決能力の向上を図り、自然への畏敬の念や、故郷への誇りや愛着を培う。</p> <p>○専門家を活用した講座や体験活動 ・普段の授業や教科書では学ぶことのできない、自然科学のふしぎや面白さを体感できる活動を企画し、より多くの児童生徒の自然科学技術に対する興味関心を高める。 ・ヤギさんとのふれあい授業によって、命の尊さを肌で感じ、豊かな心を育成する。 ※美濃加茂市では、平成23年から山羊(ヤギ)による緑地斜面除草に取り組んでいます。</p>										
<p>KPI</p>	<p>『将来の夢や目標を持っている』に「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた児童生徒の割合(%)</p>	<p>年度(令和)</p>	<p>2025(7)</p>	<p>2026(8)</p>	<p>2027(9)</p>	<p>2028(10)</p>	<p>2029(11)</p>				
<p>目標値</p>		<p>76</p>		<p>78</p>		<p>80</p>		<p>82</p>		<p>84</p>	
<p>R5 実績値※</p>		<p></p>		<p></p>		<p></p>		<p></p>		<p></p>	

※令和7年度開始の KPI のため令和5年度の実績値はなし


人の未来をつくる⑦ 生物多様性地域連携促進事業(みのかも定住自立圏事業)

<p>目的</p>	<p>みのかも定住自立圏域の人々が自然環境に関する意識を高め、生物多様性の保全に積極的に取り組むこと。 みのかも定住自立圏の自然の豊かさを圏域内及び圏域外にも周知すること。</p>						
<p>対象</p>	<p>みのかも定住自立圏内外の住民</p>	<p>主管</p>	<p>産業振興部環境課</p>				
<p>概要</p>	<p>○環境フェアの開催 8市町村合同により、加茂地域の自然環境をテーマとしたイベントを開催し、地域の生物や食材に触れる取組や環境に関する意識を高める取組を実施します。</p> <p>○学習会等の開催 河川の汚染程度や水質改善の必要性を判断できる観察対象であるカワゲラに関するものをはじめとして、「森とシカと人の関係」や「川の魚とオオサンショウウオ」などの生態系の豊かさやバランスに関する学びを実施します。</p> <p>○圏域の自然環境調査による基礎データの更新 美濃加茂自然史研究会による自然環境基礎調査を継続し、環境政策に関する基礎的な情報の更新を継続します。</p>						
<p>KPI</p>	<p>環境フェアや生物多様性学習会等への参加者数(人)※圏域住民の関心度</p>	<p>年度(令和)</p>	<p>2025(7)</p>	<p>2026(8)</p>	<p>2027(9)</p>	<p>2028(10)</p>	<p>2029(11)</p>
<p>目標値</p>		<p>4,000</p>	<p>4,000</p>	<p>4,000</p>	<p>4,000</p>	<p>4,000</p>	<p>4,000</p>
<p>R5 実績値:2,483</p>							


人の未来をつくる⑧「みる」スポーツ推進事業

目的	・ハイレベルなスポーツを「みる」ことで、地域活性化につながるスポーツへの関心を向上させ、スポーツを多様に楽しむことのできる地域社会を実現すること。 ・スポーツの楽しさや夢に向かって努力することの大切さを知り、こどもたちが豊かな人生を送るための気づきを得ること。						
対象	市民全般、市内在住の小学5年生および中学2年生(双葉中生徒含む)	主管	市民協働部スポーツ振興課				
概要	○トップレベルのスポーツ観戦 国内最高峰の競技スポーツを観戦する機会を創出し、スポーツを身近に感じられる機会を増やします。 ○夢の教室 トップアスリートを「夢先生」として小中学校に派遣してスポーツの楽しさや夢に向かって努力することの大切さを伝え、目標意識や健全な生活習慣の獲得、団結力やコミュニケーション能力の向上を図ります。						
KPI	全国規模のスポーツ大会観戦者【市民】(人) ホームタウンデー「ともチケ」発行数	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		290	290	290	290	290	290
R5 実績値:235							

人の未来をつくる⑨ 教育相談・適応指導教室推進事業


目的	第3次教育振興基本計画に基づき、すべての子どもたちが学びにアクセスできる環境の整備をする。教育相談体制の充実、社会的自立を支援する多様な学びの場の整備促進、関係機関との連携を強化する。						
対象	学校生活や集団生活に対し不適応状況にある児童生徒、保護者および学校職員	主管	教育委員会事務局学校教育課				
概要	<p>○不登校児童生徒及びその保護者が一人で悩みを抱え込まず、前向きに生活することができるよう、「教育相談」「あじさい個別懇談」「おしゃべりしよう会」等を定期的実施</p> <p>○あじさい教室及びあじさいフリースペースについて、運営状況の評価・検証結果に基づき改善・充実を図る</p> <p>○重層的支援体制整備事業を用いて、登校渋り、五月雨登校及び不登校状態にある児童生徒が、自己肯定感、自己有用感及び自己効力感を形成することができるように福祉部局との緊密な連携を図る</p> <p>※令和7年度に生涯学習センター施設維持管理事業と連携</p>						
KPI	学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒の割合(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		0					
R5 実績値:20		0					

人の未来をつくる⑩ 参加支援事業

目的	<p>・人と人との関わりにおける「支える側」と「支えられる側」という関係性を越えて、誰もが役割と出番を実感するために、多様な状況や立場の人が集える機会を創出すること。</p> <p>・市民や支援関係機関が顔なじみの関係となり、お互いに地域課題を共有し、ともに暮らしやすい地域について考えることができる学びの場を通じて、主体的に地域と関わろうという気持ちを育み、住民自治への再価値づけや自律的な地域づくりを可能とするひとりぼっちを創らない地域共生社会を実現すること。</p>						
対象	市民、市内の支援関係機関および市内の関係課	主管	市民福祉部福祉課				
概要	<p>○地域共生社会の実現に向けた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「安心感」と「他者から必要とされている感覚」を育むため、どのような状況、立場の人でも気軽に集うことができる居場所づくりを実施します。 ・誰にも「役割」があることを実感できる機会を通じて、「支え支えられ」という互惠感情が育まれる体験を提供します。 ・市民と支援関係機関がともに地域課題を認識し共有する機会を通じて、お互いに地域課題の解消に向けた協力関係や協働活動を創出します。 ・事業への参加者が地域に出かけながら地域住民と対話し、新たに社会とつながる機会や場を創出します。 						
KPI	事業による「居場所」や「学びの場」の開催回数(回)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		42	47	52	54	59	
R5 実績値:※							


※令和6年度開始の KPI のため令和5年度の実績値はなし

人の未来をつくる⑪ プレスクール事業


目的	日本語の読み書き、日本の学校生活のルール、集団生活などの生活習慣、コミュニケーションの取り方などを就学前に理解し、スムーズな就学へとつなげること。						
対象	公立・私立・認可外保育施設に通う外国籍児童および外国にルーツを持つ児童	主管	健康こども部こども未来課				
概要	<p>○対象児童が多い園、認可外保育施設での実施(年長・年中)</p> <p>・日本語の理解の度合を考慮してクラス分けをして日本語教師により実施するプログラムで、年間カリキュラムを作成し、ひらがなを主体とする日本語や自分の名前の読み書き、日本で生活していく上での基本的な生活習慣等の指導を実施します。</p>						
KPI	外国人児童のプレスクール事業参加率(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
		目標値	45	50	55	60	65
		R5実績値:※					

※令和6年度開始の KPI のため令和5年度の実績値はなし


人の未来をつくる⑫ のぞみ教室推進事業(みのかも定住自立圏事業)

目的	第3次教育振興基本計画に基づく学習保証として、日本語の読み書き、日本の学校生活のルール、集団生活などの生活習慣、コミュニケーションの取り方などを就学前に理解し、スムーズな就学へとつなげること。						
対象	みのかも定住自立圏内に居住する日本語理解が難しい学齢期の外国人児童生徒	主管	教育委員会事務局学校教育課				
概要	<p>○初期適応指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車両での送迎による遠隔地からの参加を可能にしつつ、在籍する学校での生活が支障なく送れるように、必要な日本語、日本の文化、学校生活の基礎に関する生活指導を行います。 ・基礎的、基本的な学力を身に付けるために、ICT を活用して個別最適な学びを充実したり、多言語化している児童生徒の母語に対応したりするなど、日本語理解レベルや学習習熟度に応じて、多様な方法で個に応じた学習指導を実施します。 						
KPI	のぞみ教室に在籍した児童生徒が小学校・中学校に就学後、年度末まで在籍した割合【帰国・転校を除く】(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値 R5 実績値:100		100	100	100	100	100	

人の未来をつくる⑬ 子育て支援事業


目的	子育て不安を軽減し、子育ての楽しさを感じ、安心して子どもを生き育てることができる環境を整備する。						
対象	子育て中の保護者、子育て支援に興味関心がある市民、市内中学生	主管	健康こども部子育て支援課				
概要	<p>○交流や学ぶ場の創出 親子で楽しめる参加型のイベントや子育てサロンの開設、子育て講座の開催など、保護者の子育ての悩みや孤独感を軽減し、自分なりに楽しく子育てができる方法を見つける手助けをする。</p> <p>○命のバトンふれあい教室(中学3年生を対象) 地域の方々の協力を得ながら、中学生が赤ちゃんやその保護者と交流し、命の大切さや子育てのリアルを感じられる機会を創出する。</p>						
KPI	子育て関係事業の参加者数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
		目標値	17,200	17,200	17,200	18,000	18,000
		R5 実績値:17,045					

人の未来をつくる⑭ 幼児療育支援事業(みのかも定住自立圏事業)


<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な障がいに対応できる職員の育成。 ・多種多様な障がいの早期発見と早期支援の充実による一貫した支援体制の構築。 ・早期発見に関わる療育施設の役割強化と地域連携を充実。 						
<p>対象</p>	<p>定住自立圏域の幼児療育に関わる関係職員</p>	<p>主管</p>	<p>健康こども部子育て支援課</p>				
<p>概要</p>	<p>○人材育成研修 発達及び障がいについての基礎知識と専門的技術の習得を図るための人材育成研修の実施。</p> <p>○圏域の共通課題について関係機関を含む合同研修会の開催。</p> <p>○専門職等の派遣支援 オプトメトリスト(視力検査や視覚に関する健康問題の診断・治療を行う)、心理士(臨床心理学にもとづく知識や技術を用いてメンタルヘルス問題を解決に導く)、作業療法士(応用的動作能力や社会的適応能力を維持・改善するリハビリテーションを行う)などの専門職を現場に派遣し、実践的な学びにより療育者の質の向上を図る。</p>						
<p>KPI</p>	<p>研修内容を療育に活かした職員の割合(%) ※アンケート結果より</p>	<p>年度(令和)</p>	<p>2025(7)</p>	<p>2026(8)</p>	<p>2027(9)</p>	<p>2028(10)</p>	<p>2029(11)</p>
<p>目標値</p>		<p>100</p>					
<p>R5 実績値:※</p>		<p>100</p>					

※令和6年度開始の KPI のため令和5年度の実績値はなし


人の未来をつくる⑮ 保育園ICT活用事業

目的	ICTの活用により個々のこどもの状態を把握し、こどもの理解を深めることで保育士間のコミュニケーションを充実させ、保育士の質の向上を図るとともに保護者が安心して預けられる保育環境を構築すること。						
対象	保育を必要とする児童、保育士	主管	健康こども部こども未来課				
概要	<p>○状態把握・共有プログラムの活用 保育中における園児の状態や保育士の気づきなどを入力するアプリケーションを用いて各園でデータを活用したフィードバック会議を行い、それぞれの保育を振り返り、保育の質を向上させることに取り組みます。また、月に1回程度、全園長が集まり、ICT全体会議を開催し、アプリケーションの活用方法やデータの分析等について情報共有しながらより良い保育の実施につなげます。</p>						
KPI	本事業がスキルアップに有効と感じる保育士の割合 (%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		90	92	92	92	92	
R5 実績値:90							

人の未来をつくる⑩ 里山保育事業

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の豊かな自然環境や地域コミュニティとの関わりを通じて、こどもたちの非認知能力(社会性、自己制御、感情の理解など)を高めること。 ・自分自身だけでなく他者を尊重し、大切に思う心を養うことなど、こどもたちの情操や共感を育て、豊かな人格形成を促進すること。 						
対象	公立保育園、こども園の利用児童	主管	健康こども部こども未来課				
概要	<p>○市内全域をフィールドにした保育 豊かな自然(水、土、風、動植物など)との関わりで園児の五感に働きかける活動を展開し、遊びを通じた自由な発想や非認知能力を育みます。</p> <p>○地域との連携 地域の方々との連携協力体制の構築に取り組み、保育士のスキルアップや小学校へつながる仕組みづくりを実施します。</p>						
KPI	里山保育(保育内容)の満足度(%) ※保護者アンケート	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		80	80	80	80	80	
R5 実績値:78							

人の流れをつくる① 里山活用事業

目的	地域産業活性のモデル地区として本来の里山を取り戻し、里山にある資源や空間を有効活用して地域の持続可能な発展につなげること。						
対象	市内の里山	主管	産業振興部農林課				
概要	<p>○里山の整備 森林経営計画等に基づき、地域連携や地域住民による維持管理を進めます。</p> <p>○里山の資源活用 里山から産出された木材を使用して、学校机の天板やふるさと納税の返礼品など、市特有の産品を生産します。</p> <p>○整備後の里山利活用 ・森林空間活用や地域連携のモデル地区として発信します。 ・里山をフィールドとして企業との連携を通じた里山整備を推進するため「地域貢献の整備」と「社員の健康」を合わせた事業計画を策定し企業への働きかけを図ります。</p>						
KPI	里山整備ボランティア活動のべ整備面積(ha)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		1.8	1.9	2.0	2.1	2.2	
R5 実績値:1.6							

人の流れをつくる② 里山まちづくり事業(みのかも定住自立圏事業)

目的	里山や地域の伝統、文化などを深く理解し、将来この圏域で活躍する人材や圏域の魅力を生かした地域活性化を支える人材を育成すること。						
対象	定住自立圏域の里山地域の住民、定住自立圏域内外の住民および民間事業者	主管	市民協働部まちづくり課				
概要	<p>○聞き書きの実施 地域資源の掘起しにつながる「聞き書き」によって、地域に伝わる知恵や文化を継承します。</p> <p>○圏域内外への情報発信 ホームページ、SNSにて里山の暮らしや文化などの情報、講座など情報発信をします。</p> <p>○里山体験事業 継続的に関わりをもち、里山での暮らしについての学びや担い手となる人材育成につながる講座を実施します。 地域資源を活用した事業(ソーシャルビジネス)を体験する講座を実施します。</p>						
KPI	地域と関わりをもち続けたいと感じる人の割合(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		95	95	95	95	95	
R5 実績値:94							




人の流れをつくる③ 古民家等による地域資源活用事業

目的	里山地域の価値や魅力を理解し、地域の暮らしや文化を尊重する人材を育成することに加え、地域資源の活用や利用を広める取組を促進し、地域経済の好循環を市の発展につなげること。						
対象	地域内外の住民、民間事業者	主管	市民協働部まちづくり課				
概要	<p>○里山の担い手育成 古民家再生施設での里山資源を活用した事業化に関する講座を継続的に実施し、里山地域に関心を持ち、活動をする担い手を育成します。また、初級や中級などの選択ができるよう事業のバリエーションを増やすことで、参加者の増加を図ります。</p> <p>○里山資源の活用 地域材の確保と他の事業者等へも地域材を活用してもらうことを狙い、施設を拠点とした地域経済循環の仕組みを構築します。また、里山資源を活用していくためのコンソーシアムを設立運営していく素地をつくります。</p>						
KPI	交流人口および関係人口の数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値※		13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	
R5 実績値:61							

※旧伊深村役場庁舎活用事業と統合のため変更


人の流れをつくる④ Kisoジオパークにぎわい創出事業(みのかも定住自立圏事業)

<p>目的</p>	<p>木曽川周辺の自然や現代アートに触れながら、豊かな人間性、自ら学び自ら考える力や新たな感性を育み、生きる力の基盤を育てると共に地域愛を醸成し、定住促進に寄与すること。</p>						
<p>対象</p>	<p>市内外からの木曽川河畔空間利用者</p>	<p>主管</p>	<p>建設水道部土木課</p>				
<p>概要</p>	<p>○イベント等の開催 畔空間を生かした自然体験講座や地域資源を生かした現代アートワークショップ、マルシェ等の各種イベントを開催し、新たな価値観の創出と地域の賑わいを促進します。</p> <p>○歩行空間の整備 照明や遊歩道の改修を進め、質の高い固有の河畔空間をつくるための整備を実施します。</p>						
<p>KPI</p>	<p>堤防道路の利用人数(人)</p>	<p>年度(令和)</p>	<p>2025(7)</p>	<p>2026(8)</p>	<p>2027(9)</p>	<p>2028(10)</p>	<p>2029(11)</p>
<p>目標値</p>		<p>268,500</p>	<p>278,300</p>	<p>278,300</p>	<p>278,300</p>	<p>278,300</p>	<p>278,300</p>
<p>R5 実績値:268,300</p>							

人の流れをつくる⑤ かわまちづくり整備事業

目的	市民や施設利用者の意見を反映した事業を実施することで、かわまちづくりエリアの賑わいと憩いの場の創出につなげる。						
対象	木曽川河川利用者、周辺住民	主管	建設水道部土木課				
概要	○リバーポートパーク美濃加茂が賑わうよう、運営管理する指定管理者とともに事業を計画、実施する。						
KPI	リバーポートパーク来訪者数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		181,000	181,000	181,000	181,000	181,000	
R5 実績値:185,000							

人の流れをつくる⑥ 中山道観光推進事業


目的	伝統的な景観を守り、古くから残る町並みや文化を生かした宿場観光や地域交流によるにぎわいを創出するとともに、観光満足度を向上させること。						
対象	中山道太田宿を訪れる観光客、地域住民	主管	産業振興部商工観光課				
概要	<p>○太田宿中山道会館の運営 指定管理制度を活用し、民間の活力や発想を生かしながら太田宿中山道会館を管理、運営します。</p> <p>○観光関連施設の維持管理 中山道太田宿区域内における観光関連施設に必要な維持管理を実施します。</p> <p>○まちなみ保存による景観形成 中山道太田宿区域内における景観条例に即した建造物の修景を支援し、まちなみを維持します。</p>						
KPI	中山道会館来館者数 (人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		90,000		100,000		100,000	
R5 実績値:85,293		100,000		100,000		100,000	

人の流れをつくる⑦ 牧野ふれあい広場事業

目的	市内に陸上競技場、多目的広場、アーチェリー場の施設を新たに整備することで、市民のスポーツ(競技スポーツ、生涯スポーツ、健康スポーツ)の振興を図る。						
対象	全市民・施設利用予定者	主管	市民協働部スポーツ振興課				
概要	<p>○市民のスポーツ(競技スポーツ、生涯スポーツ、健康スポーツ)振興を図るため、牧野ふれあい広場(陸上競技場・多目的広場・アーチェリー場)の利用調整をする。</p> <p>○施設を安全・快適に使用していただくために、設備の保守点検、修繕・改修工事を実施する。</p>						
KPI	牧野ふれあい広場陸上競技場の個人利用者数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		10,000	11,000	12,000	13,000	14,000	
R5 実績値※							

※令和7年度開始の KPI のため令和5年度の実績値はなし


人の流れをつくる⑧ 国際交流事業

目的	海外と自国の違いを知り、多様な視点をもった市民によるまちづくりにつなげること。						
対象	市民(在学、在勤を含む。)	主管	市民協働部まちづくり課				
概要	○姉妹都市提携 オーストラリア国ダボ・リージョンとの姉妹都市提携に基づく健康、観光、教育・若者に関連する連携に係る調整・国際交流の促進に向けた関係機関との協議やPRのほか、青少年の海外への派遣および海外からの受入等を通じた交流事業を実施します。						
KPI	青少年派遣・受入報告会 参加者数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値							
R5 実績値:180		250	250	250	250	250	250


人の流れをつくる⑨ 移住して暮らし始めるための支援事業

目的	未来に向けた自然と共生できるまちづくりにおいて、地域の担い手となり得る人材を確保すること。						
対象	市外からの移住定住希望者	主管	市民協働部まちづくり課				
概要	<p>○美濃加茂市への移住定住に関する情報発信 ホームページ「みのかも時間」やSNSを活用し、交流および関係人口へ移住定住の情報を発信します。</p> <p>○空き家バンク制度の運営 移住希望者の住居として市内の空き家物件を利用していただけよう、まちづくり協議会をはじめとする地域住民とも連携し空き家情報の収集・発信、物件見学会を実施します。</p> <p>○移住支援 東京圏から移住し、就業または起業した方に対し、国、県との連携による支援金を交付します。</p>						
KPI	まちづくり課が窓口になって移住した件数【空き家バンク成約件数】(件)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		6					
R5 実績値: 3		6					


人の流れをつくる⑩ 女性活躍推進事業

目的	自分らしくいきいきとした人生を歩もうとする人を応援し、笑顔で、輝いて、夢を叶えられるよう一歩踏み出す人の増加を図ること。						
対象	市民	主管	市民協働部ひとづくり課				
概要	<p>○「Re:Ola[リオラ]」の運営 「ふらっと立ち寄り」、「ちょっと相談」、「そっと寄り添う」をコンセプトとした「みんなのプラットフォーム」として、相談支援を主目的とした「みのかも女性活躍支援センター Re:Ola[リオラ]」を運営します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインやキャリアアップ等のセミナー実施 ・コミュニケーションやライフデザインをテーマ目的とした座談会による利用者同士のつながり拡大 ・活躍機会創出のためのイベント開催 ・女性デジタル人材の育成のための講座を開催。デジタルスキルの取得及び企業とのネットワーク形成、求職者と企業のマッチング支援 						
KPI	女性活躍支援センター利用者および講座受講者等の事業への満足度(%)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		99	99	99	99	99	
R5 実績値:98							


人の流れをつくる⑪ 姫Biz戦略事業

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・女性、若年層、シニアなど、多様な起業ニーズがある幅広い年代の起業者を増加させるとともに、起業後の事業の円滑化を促進させること。 ・中山道にエリアの空き家解消による既存ストックの有効活用 						
対象	市民、起業希望者、事業者、中山道における起業希望者および空き家所有者	主管	産業振興部商工観光課				
概要	<p>○起業等相談窓口運営 女性、若年層、シニアなど幅広い年代からの多様な起業ニーズに対応する相談支援、起業や経営支援に関するセミナー等を開催します。</p> <p>○起業支援補助金 中山道にエリアを限定した集中的な補助金交付により、起業促進を実施するとともに空き家の解消を図ります。</p>						
KPI	起業件数(累計) ※姫 Biz 事業によるもの	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		140	155	170	185	200	
R5 実績値:134							

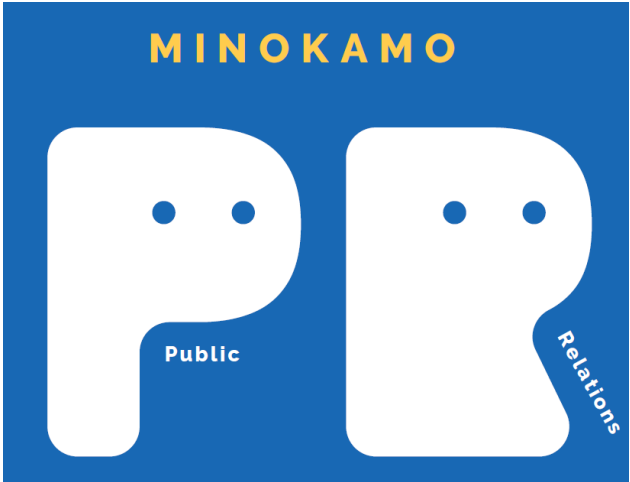
人の流れをつくる⑫ あい愛バス運行事業

目的	移動の利便性を向上させ、地域のコミュニティづくりや安心安全、健康増進、まちなかのにぎわい創出、環境負荷の低減等を推進すること。						
対象	市民、美濃加茂市を訪れる人	主管	市民協働部まちづくり課				
概要	<p>○美濃加茂市コミュニティバス「あい愛バス」の運行 9路線、1日8便を毎日運行しながら、時刻表の継続的な見直しやホームページによる広報を実施します。</p> <p>○AI デマンド交通システム運行にむけた実証実験 AI デマンド交通システムを取り入れ、利用者のニーズに応じたルートやダイヤによる運行を実現し、利便性向上を図るため実証実験を行います。</p>						
KPI	バス利用者数(人)	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)
目標値		154,000		158,000		170,000	
R5 実績値:141,411		154,000		158,000		178,000	

人の流れをつくる⑬ 圏域まるごとスマホ市役所(みのかも定住自立圏事業)

<p>目的</p>	<p>デジタルを活用して、待たない・書かない・行かない市役所を実現し、これまで市役所利用に要していた「時間」をお返すこと。</p>						
<p>対象</p>	<p>市民、通勤・通学者</p>	<p>主管</p>	<p>経営企画部企画課</p>				
<p>概要</p>	<p>○市 LINE 公式アカウントを活用した各種行政サービスの提供 オンラインによる行政手続の申請、各種イベント予約、キャッシュレス決済、行政サービスの情報提供など、市に関係する手続き等の利便性を向上させる環境を整備します。</p>						
<p>KPI</p>	<p>市 LINE 公式アカウントの累計登録者数(人)</p>	<p>年度(令和)</p>	<p>2025(7)</p>	<p>2026(8)</p>	<p>2027(9)</p>	<p>2028(10)</p>	<p>2029(11)</p>
<p>目標値</p>		<p>19,200</p>	<p>20,400</p>	<p>21,600</p>	<p>22,800</p>	<p>24,000</p>	<p>24,000</p>
<p>R5 実績値:10, 267</p>							

人の流れをつくる⑭ シティプロモーション事業

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の住民や関係者における市政等への関心を高めるとこと。 ・シビックプライドの醸成による定住促進と関係人口・交流人口等の増加を通じた地域の活性化を図ること。 										
対象	市民および市外の住民・関係者、市職員	主管	経営企画部秘書広報課								
概要	<p>○戦略的プロモーションの実施 AI を活用した市内のイベント情報集約サイトの運営をはじめとして、市の行政分野の方針や施策について市民が関心を高め、より深い理解が進められるよう、専門家等の知見を活用したプロモーションを実施します。</p> <p>○広報業務についての職員の資質向上 広報マインドを醸成するための職員研修や緊急事案発生時の危機管理サポートを実施します。</p>										
KPI	美濃加茂市に誇りや愛着を感じている人の割合(%) ※「とても感じている」「どちらかといえば感じている」の合計	年度(令和)	2025(7)	2026(8)	2027(9)	2028(10)	2029(11)				
目標値		65		66		67		68		69	
R5 実績値:63											

第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(資料編)



令和7年4月策定

令和8年4月改訂

岐阜県美濃加茂市

目次

1 第2期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の振り返り	1
2 第2期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績	1
3 第2期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果	5
4 第2期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の統括	6
5 美濃加茂市を取り巻く状況	7

1 第2期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の振り返り

第2期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合は、第6次総合計画のまちづくり宣言(基本計画)の一つである「若者女性活躍」の実行計画として位置づけ、また、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)に基づく美濃加茂市女性活躍推進計画に位置づけることで、人口減少問題の克服をめざす取組を実施してきました。

令和2年度から令和6年度の5か年間で計画期間とし、重要業績評価指標(KPI)の達成状況および事業の取組がもたらした成果について、庁内の関係部署による評価の結果を踏まえ、学識経験者やその他専門的知見を持つ「総合戦略推進アドバイザー」の提言・助言を受けながら、効果検証を行ってきました。

○総合戦略推進アドバイザー

領域	役職
産	株式会社フジイ 代表取締役
官	岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センター センター長
学	中部学院大学短期大学部 幼児教育学科教授
金	東濃信用金庫美濃加茂支店 支店長
労	美濃加茂公共職業安定所 所長
言	みのかもフリーペーパー歩好里人 代表

単位:人

2 第2期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績 ○第2期人口ビジョンの将来展望人口との比較

戦略期間中に、新型コロナウイルス感染症が流行し、社会全体に大きく影響を与えました。本市においても、出生数が減少し、自然増減数がマイナスになるなど、人口減少につながる影響がありましたが、将来展望人口に近い水準を維持することができました。

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
総人口	57,171	57,016	57,173	57,357	57,452
将来展望人口 (人口ビジョン)	57,375	57,610	57,803	57,986	58,160
総人口 － 将来展望人口	-204	-594	-630	-629	-708

※総人口は各年度末時点の人口

○ステージごとのKPI実績(各年度)

ステージ 【目標値】	KPI	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ライフスタイル 【75%】	充実したライフスタイルを送る女性の割合を63.6%から75%に増やします	63.3%	63.7%	54.9%	61.7%	56.2%
出会い・結婚 【600件】	婚姻件数(年あたり600件)を維持します	482件	524件	531件	507件	508件
妊娠・出産 【500人】	生まれる赤ちゃんの数(年あたり500人)を維持します	470人	450人	407人	421人	360人
子育て 【1.75人】	子どもを持つ世帯の平均子ども数1.75人を維持します	1.75人	1.75人	1.75人	1.75人	1.75人
教育 【40%】	女性や若者が夢をかなえられるまちだと感じられる人の割合を20%から40%に増やします	8.9%	8.9%	12.5%	12.0%	12.8%

【実績に対する評価】

「ライフスタイル」…戦略の開始時期と比べると、減少はしていますが、おおむね変わらない数字を維持しています。目標値には至っていませんが、今の暮らしにおおむね満足していると評価していただいているものだと考察します。

「出会い・結婚」…目標値には至っていませんが、件数が減り続けるのではなく、一定のところで数値は維持しています。

「妊娠・出産」…全国的な出生率の低下の影響を本市も受けており、年々減少傾向にあります。

「子育て」…目標値を達成しており、今後も維持していきます。

「教育」…全体としての数値は目標値に至っていませんが、年々上昇傾向にあることから、今後はより一層評価していただけるよう事業に取り組んでいきます。

○令和6年度実績(カミーノアクションプランの進捗状況)

施策	事業数(KPI数)	KPI達成	KPI未達成	未実施
ライフスタイル「自分らしく生きられる」	10	5	5	0
出会い・結婚「家族をつくれる」	2(3)	2	1	0
妊娠・出産「お母さんになれる」	4	0	3	1
子育て「子どもの笑顔を守れる」	13(15)	9	6	0
教育「ふるさとを好きになれる」	13(14)	9	5	0
合計	42(46)	25	20	1

【実績に対する評価】

KPIの達成率は54.3%、未達成率は43.5%、未実施は2.2%となり、昨年度からKPIの達成率は上昇しました(昨年度は達成率50.0%、未達成率50.0%)。令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の影響がほとんどなくなり、イベント、教室等の集客に関する事業が感染症流行以前のように展開ができたことが要因と考えられます。また、KPI未達成であったとしても、各事業のKPIの実績値は、令和2年度の実績値と比較すると、目標値に近づいており、一定の効果は出始めています。

未実施については、不妊治療助成件数に紐づく市の事業が、令和4年4月から保険適用になったことに加え、岐阜県が令和5年4月1日から10万円を上限に助成を行うことになり、廃止となったためです。

○カミーノアクションプランにおける個別実施事業

<p>ライフスタイル「自分らしく生きられる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇姫 Biz ◇里山再生 ◇生涯学習活動の推進 ◇Caminho 推進プロジェクト ◇ヘルステック健康のまちづくり事業 ◇古民家を活用したシェア工房等整備事業 ◇女性活躍支援センター リオラ ◇合同企業説明会等開催支援 ◇インバウンド推進による外国人材との共生と共創のまちづくり事業 ◇移住して暮らし始めるための支援 	<p>子育て「子どもの笑顔を守る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「森のようちえん」「木育ひろば」 ◇保育園の里山遊び ◇保育園の新整備 ◇地域型保育事業 ◇ICT活用保育事業 ◇放課後児童健全育成事業の拡大 ◇カナリヤの家 ◇病児保育・一時預かり事業の充実 ◇ファミリー・サポート・センター ◇学習支援 ◇あい愛バス運行事業 ◇子育て支援センター ◇乳幼児健康診査事業
<p>出会い・結婚「家族をつくれる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇マリッジサポート ◇Caminho Garden 	<p>教育「ふるさとを好きになれる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇命の授業 ふれあい教室事業 ◇ふるさと検定 ◇シティプロモーション事業 ◇若者と企業つながる事業 ◇学外講師派遣推進事業
<p>妊娠・出産「お母さんになれる」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇妊婦健康診査・不妊治療費助成(事業廃止) ◇美濃加茂市版ネウボラ ◇お父さんの子育て支援 ◇ワーク・ライフ・バランス推進企業の登録 	<ul style="list-style-type: none"> ◇F-0 特色ある学校づくり ◇楽習ひろば・地域活性化スクール ◇まちじゅうキャンパス ◇グローバルな人材の育成を目指して「多文化共生推進事業」 ◇ネイティブスピーカーによる英語授業・小学1年生からの英語授業 ◇のぞみ教室 ◇科学のふしぎ解決学習推進事業 ◇博学連携・こどもわくわくプログラム

3 第2期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果

○自立持続可能性自治体へ選出

民間の有識者で構成される「人口戦略会議」において、同会議が、令和5年12月に国立社会保障・人口問題研究所が公表した地域別将来推計人口をもとに、20代から30代の女性の数、若年女性人口の減少率を市区町村ごとに分析した結果、本市は「※自立持続可能性自治体」へ選出されました。

※移動仮定、封鎖人口ともに若年女性人口の減少率が20%未満の自治体。100年後も若年女性が5割近く残存しており、持続可能性が高いと思われる自治体。1729自治体中65自治体へ選出。

○2024年_転入超過数:150人 転入超過率:0.26%

総務省による統計調査の結果、2024年の転入超過数において、本市は県内で一番多い150人と公表されました。転入超過率(転入超過数÷人口)においても、県内で上位の結果となりました。

自治体名	転入超過数
美濃加茂市	150人
岐南町	98人
安八町	80人
富加町	78人
坂祝町	50人

自治体名	転入超過率
富加町	1.35
坂祝町	0.61
安八町	0.57
岐南町	0.37
美濃加茂市	0.26

○2020年を基準とした2050年までの人口減少率:4.8%

国立社会保障・人口問題研究所が公表した、2020年を基準とした2050年までの人口減少率において、本市は県内で一番低い4.8%という結果が公表されました。

本市は、2035年ごろをピークに人口が減少傾向に転じると推測されます。

自治体名	減少率
美濃加茂市	4.8%
瑞穂市	5.4%
岐南町	6.8%
北方町	16.1%
可児市	16.1%

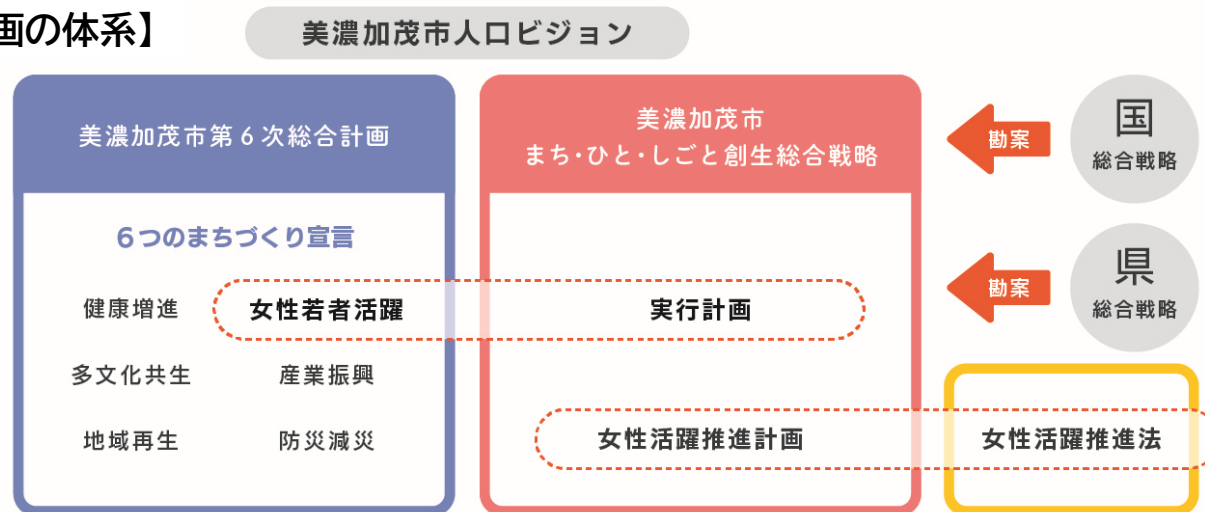
4 第2期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括

計画期間中は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、思うように事業を実施できなかった面もありますが、工夫して一つひとつ丁寧かつ確実に事業を実施することで、着実に人口が増加してきました。特に、20代、30代の女性においては、転入超過(2024年実績)になるなど、「女性の活躍」に注力して推進してきた総合戦略が評価され、効果として数字に表れたのではないかと考察します。

また、日本全国で人口が減少しており、本市においても出生数が減少している状況から、少子化に歯止めをかけるため、これまでの取組を振り返り、ブラッシュアップをすることで、効果的な事業展開を図る必要があります。

第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略では、「教育」に関する分野に注力し、本市の魅力的な自然や歴史、文化などを生かした他自治体にはない本市ならではの政策を推進することで、ふるさとへの誇りや愛着を高めます。これにより、市内にとって「住みやすく 住み続けたい魅力あるまち」であるとともに、市外から「住んでみたいまち」として認識され、若い世代の定住を図り、広く市外へも本市の魅力を伝え、転入を促進します。

【計画の体系】

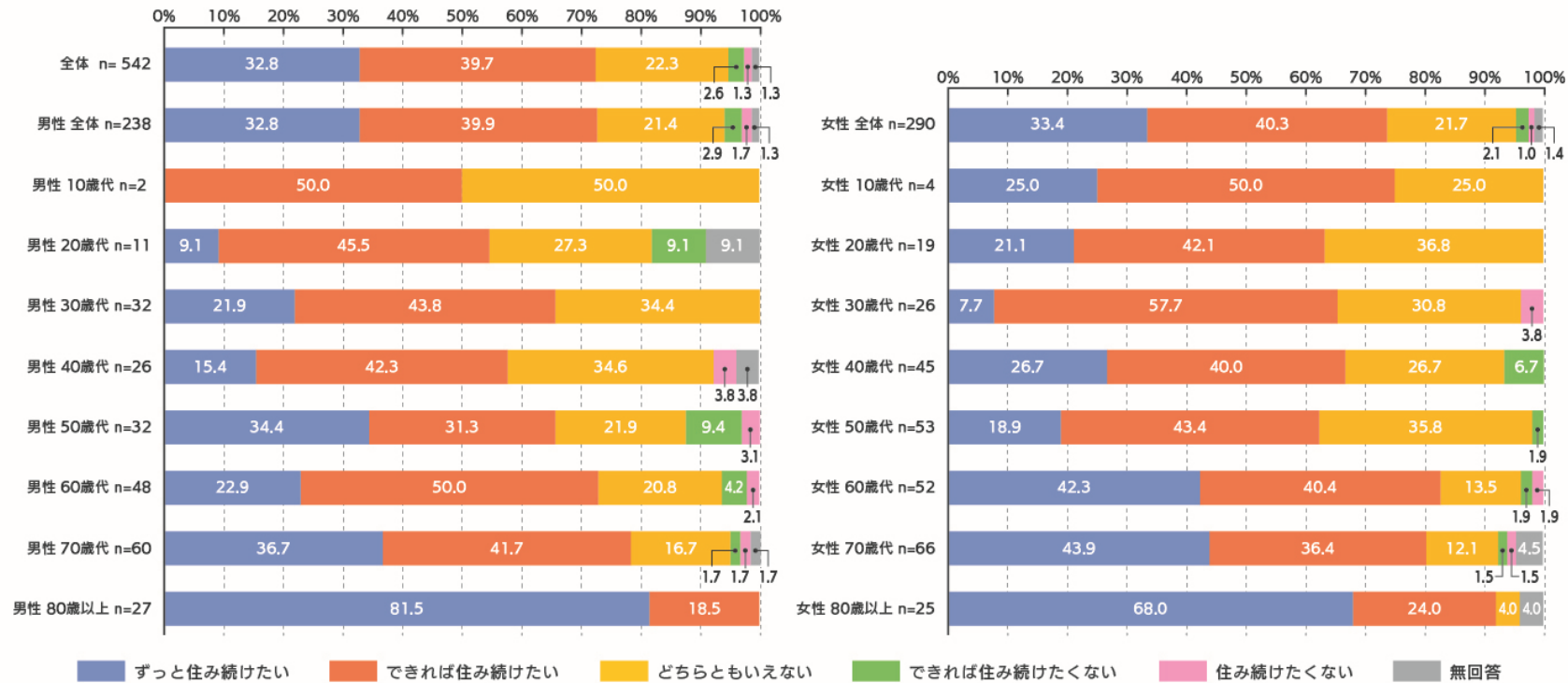


5 美濃加茂市を取り巻く状況

①美濃加茂市は住み続けたいまちですか

考察

年代が高くなるほど、住み続けたいという回答が多い結果となりました。若い世代が住み続けたいと思うための要因を分析し、住み続けたいと感じるような魅力あるまちづくりを行うことが重要と考察します。

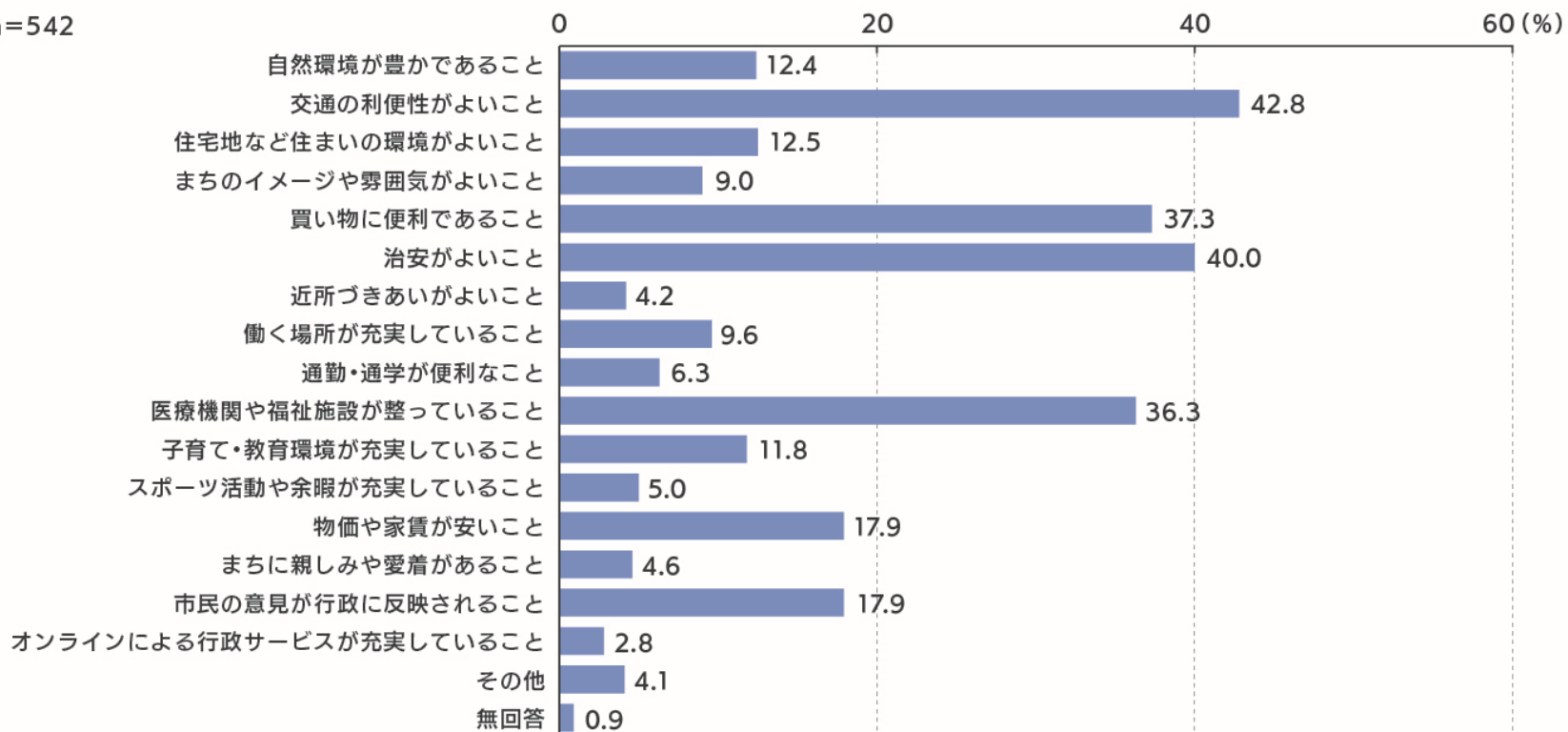


出典：令和6年度市民満足度調査

②美濃加茂市に住み続けていくために必要なこと

考察 「交通の利便性がよいこと」、「買い物に便利であること」など普段の生活環境の中での利便性を重視する割合が多い結果となっています。人口を維持していくためには暮らしやすい環境を整備することが必要であると考察します。

n=542

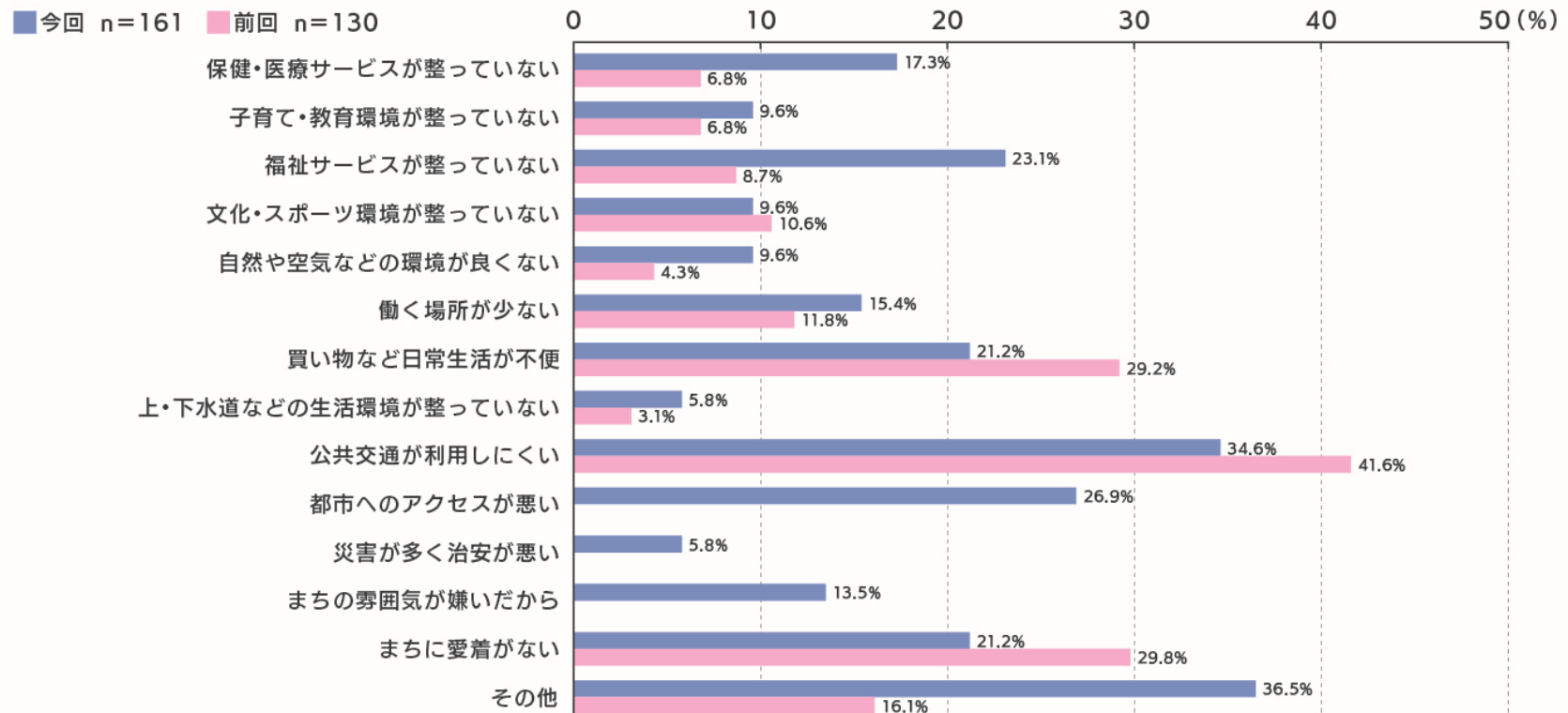


出典：令和6年度市民満足度調査

③美濃加茂市に住み続けたくない理由は

考察

住み続けたくない理由として、公共交通が利用しにくいことや、日常生活が不便であるという割合が多い結果となりました。暮らす場所として公共交通は重要な要素であり、本市は公共交通の利便性が良いと評価されたことなどから転出より転入が多い結果につながっていると考察します



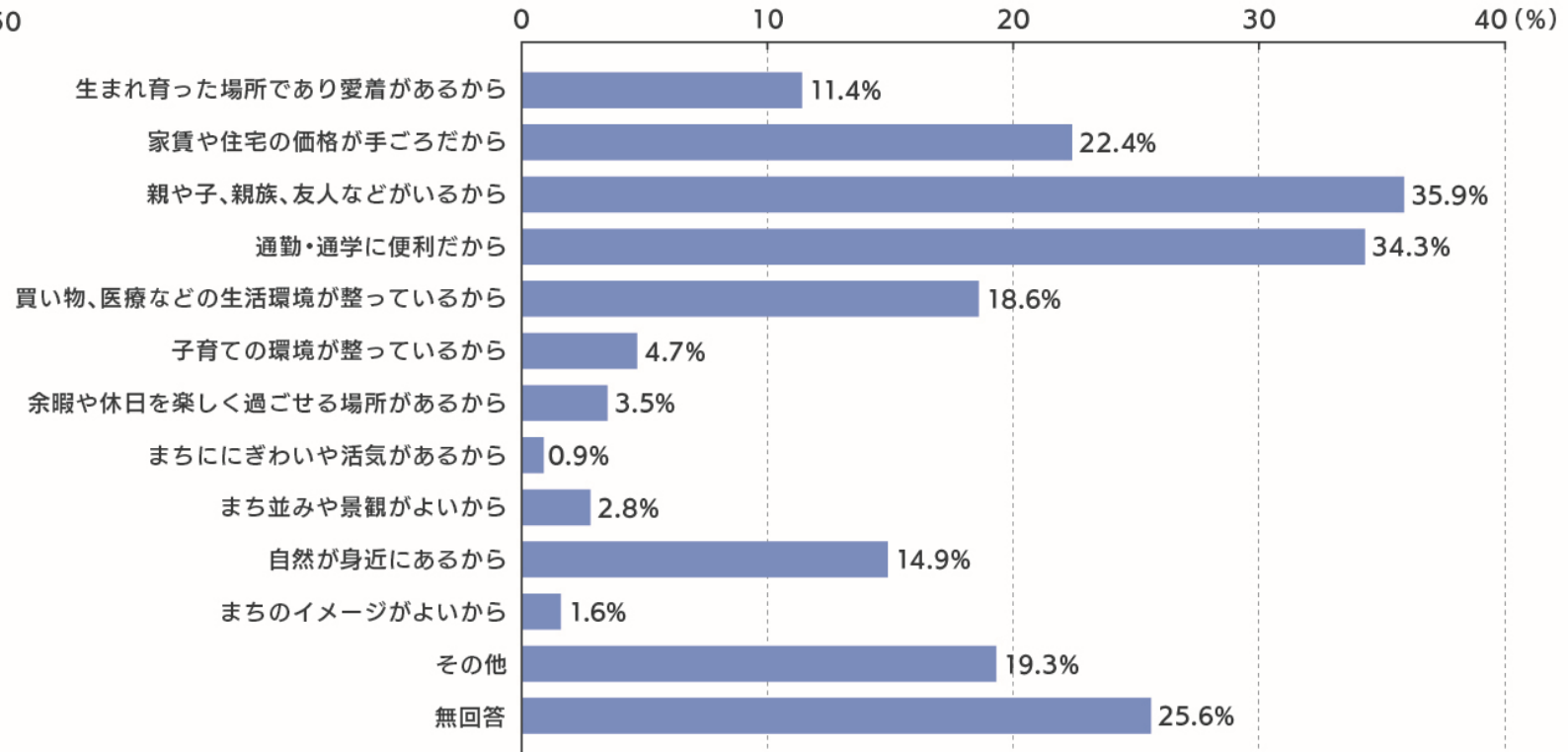
出典:令和5年度未来のまちづくりアンケート

④「美濃加茂市」を暮らす場所として選んだ理由は

考察

転入された方が美濃加茂市を暮らす場所と選んだ理由として、家族や友人が住んでいるという理由や通勤・通学に便利であるということが多い結果となりました。また、家賃や住宅の価格も手ごろであるという割合も多く、市外の方から公共交通等の利便性が良く、住宅価格も手ごろで住みやすいまちであると評価いただいていると考察します。

n=750

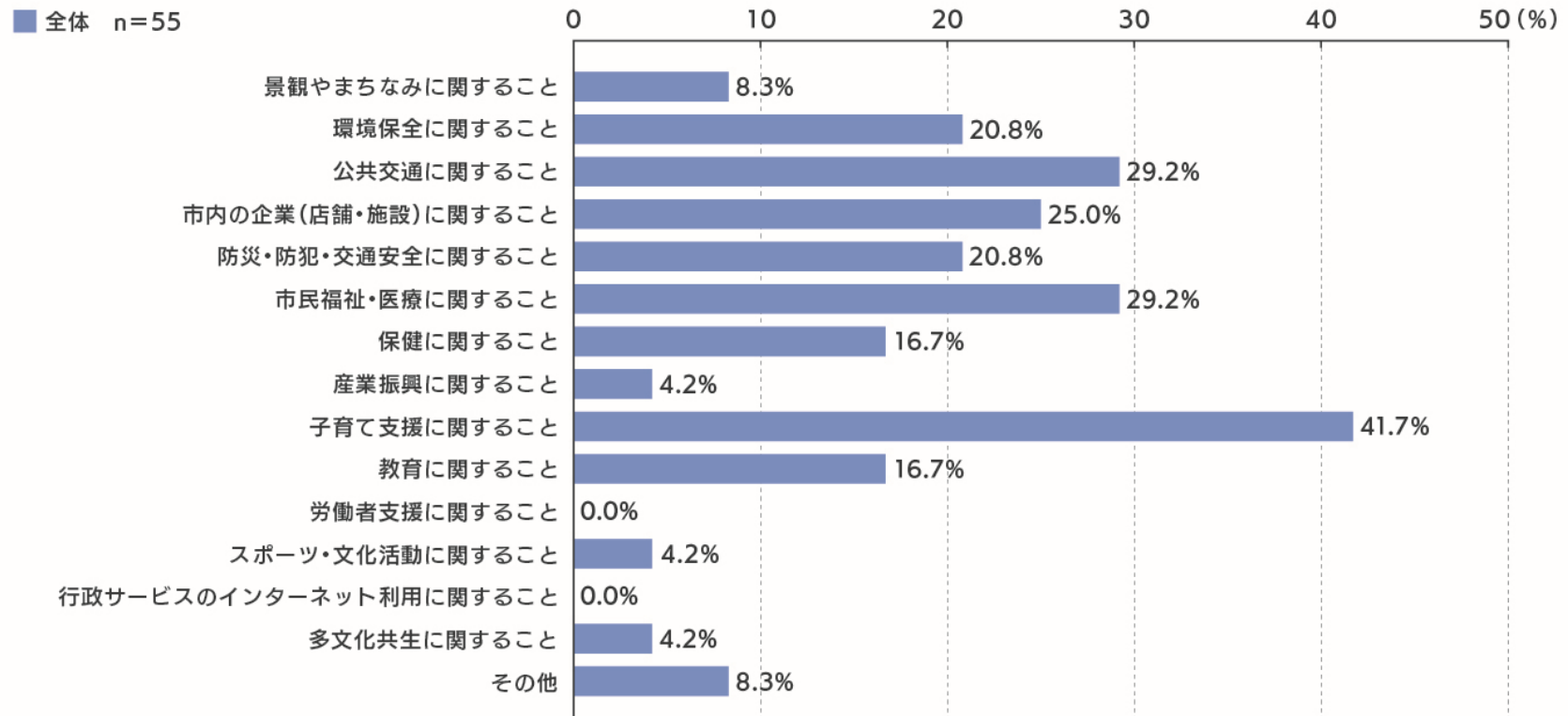


出典：令和5年度未来のまちづくりアンケート

⑤転入に当たってどんなことを調べたか

考察

美濃加茂市に転入するにあたり、市の事を調べた項目について、子育て支援に関することを調べた割合が高い結果となりました。家族や友人が住んでいることや公共交通が便利であること以外にも、子育て支援について関心が高いことが伺えます。転入を促進するにあたり、子育て支援に注力することが重要であると考察します。



出典:令和5年度未来のまちづくりアンケート

⑥市への誇りや愛着と居住意向との関係

考察

市への愛着を感じる割合が多ければ、住み続けたいと思う割合が高く、愛着を感じていなければ住み続けたいと思う割合が低いという相関がみられます。若い世代は誇りや愛着が低い場合の居住意向が、全年代平均より低い傾向が見られます。今後住み続けたいと思ってもらうためには市への愛着が高まる取組が必要であると考察します。

【比率】市民満足度調査(N=667)※誇りや愛着について無回答の13件を除く						
	ずっと 住み続けたい	できれば 住み続けたい	どちらとも いえない	できれば住み 続けたくない	住み続けたくない	実数合計
市に誇りや愛着 とても感じている	74.2%	20.2%	5.6%	0.0%	0.0%	89
どちらかといえば感じている	31.4%	52.0%	14.8%	1.3%	0.5%	379
どちらかといえば感じていない	7.9%	36.0%	48.9%	5.8%	1.4%	139
感じていない	8.3%	11.7%	46.7%	25.0%	8.3%	60
実数合計	201	272	157	28	9	667

【比率】中学生調査(N=408)※誇りや愛着について無回答の1件を除く						
	住み続けたい	どちらかといえば 住み続けたい	就学や就職で離れても 帰ってきて住みたい	どちらかといえば 住み続けたくない	住み続けたくない	実数合計
市に誇りや愛着 とても感じている	39.5%	26.6%	26.6%	5.6%	1.6%	124
どちらかといえば感じている	8.6%	28.1%	47.1%	13.1%	3.2%	221
どちらかといえば感じていない	0.0%	16.7%	26.2%	47.6%	9.5%	42
感じていない	0.0%	9.5%	19.0%	19.0%	52.4%	21
実数合計	68	104	152	60	24	408

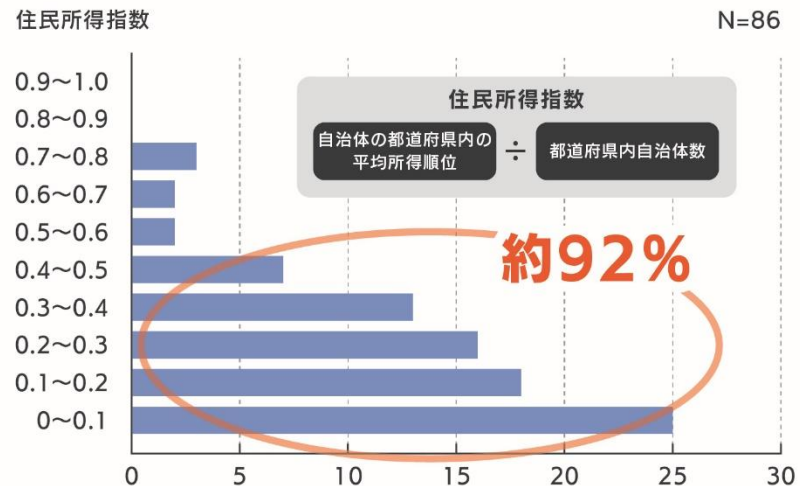
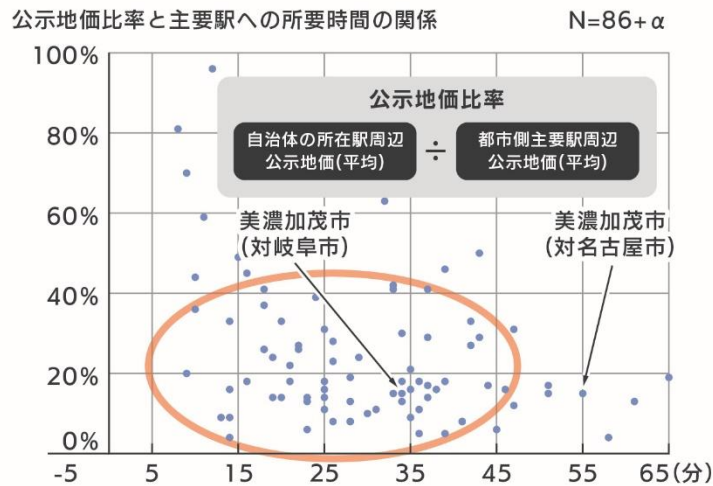
【比率】高校生調査(N=181)						
	住み続けたい	どちらかといえば 住み続けたい	就学や就職で離れても 帰ってきて住みたい	どちらかといえば 住み続けたくない	住み続けたくない	実数合計
市に誇りや愛着 とても感じている	42.1%	28.9%	23.7%	2.6%	2.6%	38
どちらかといえば感じている	15.4%	38.5%	23.1%	22.1%	1.0%	104
どちらかといえば感じていない	0.0%	17.9%	17.9%	50.0%	14.3%	28
感じていない	0.0%	18.2%	18.2%	9.1%	54.5%	11
実数合計	32	58	40	39	12	181

出典: 令和5年度未来のまちづくりアンケートの結果より分析

⑦人口の増加要因について

考察

自治体から都市側主要駅までの所要時間について、人口指数 95.0~100.0 の自治体においては平均値:32 分、中央値:33 分、100.0 以上の自治体においては平均値:27 分、中央値:25 分であり、人口増加自治体が優位です。
 公示地価比率について、人口指数 95.0~100.0 の自治体においては平均値:24.6%、中央値:18.2%、100.0 以上の自治体においては平均値:26.7%、中央値:18.7%となっており、同様に都市部の地価の1/4程度です。平均所得(年収)については、約92%の自治体が都道府県内順位において上位半分以上に位置しています。
 可処分時間と可処分所得のバランスが人口の維持向上に一定程度の影響を与えていると考察します。



『日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)※国立社会保障・人口問題研究所』における人口増加要因
 ※東京 23 区、政令指定都市、離島、鉄道駅がない自治体、著名なリゾート地を除く自治体のうち、2020年の人口
 に対し2050年の人口指数が95.0 以上の自治体について

出典:国立社会保障・人口問題研究所のデータより分析

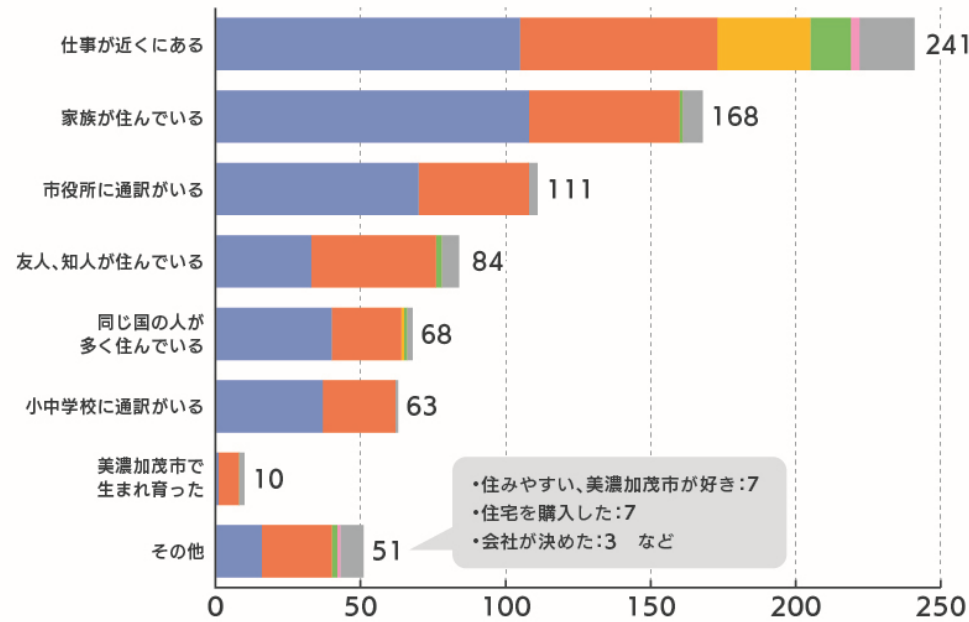
⑧外国人市民の生活について(その1)

考察

外国人人口は増加傾向であり、働く場所があることや家族、友人が住んでいることが本市に住む理由として多い結果でした。また、働く環境や生活する環境が整っているからこそ、永住する予定の外国人市民の割合が高くなっていると考察します。多文化共生に関する施策が評価されたと考えます。

美濃加茂市に住む理由(複数回答)

n=467

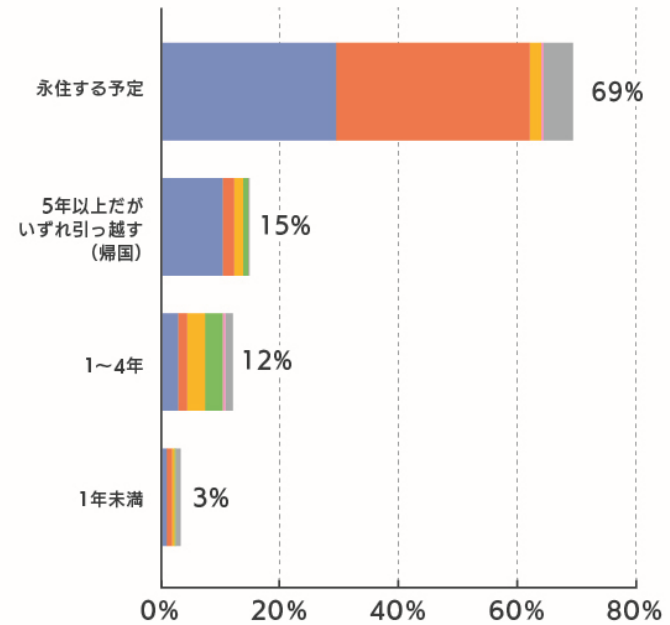


・住みやすい、美濃加茂市が好き:7
 ・住宅を購入した:7
 ・会社が決めた:3 など

■ フィリピン ■ ブラジル ■ ベトナム ■ インドネシア ■ 中国 ■ その他

美濃加茂市に住む予定期間

n=467



出典:令和4年度外国人市民アンケート

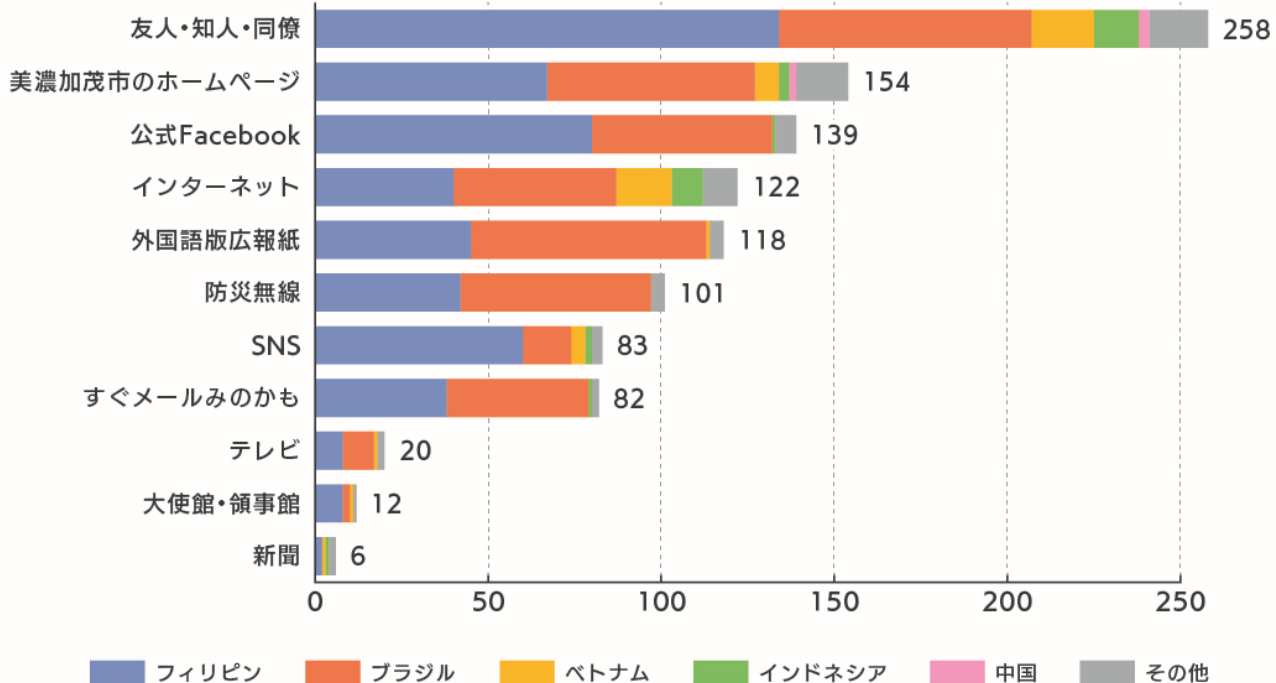
⑨外国人市民の生活について(その2)

考察

外国人市民は電子媒体での情報取得が多く見受けられます。そして取得した情報を友人・知人・同僚に共有することでさらに情報が広がっていくという日本人とは違った形があると考察されます。外国人同士のつながりを利用した情報発信を展開していく必要があります。

美濃加茂市の情報の取得方法(複数回答)

n=467

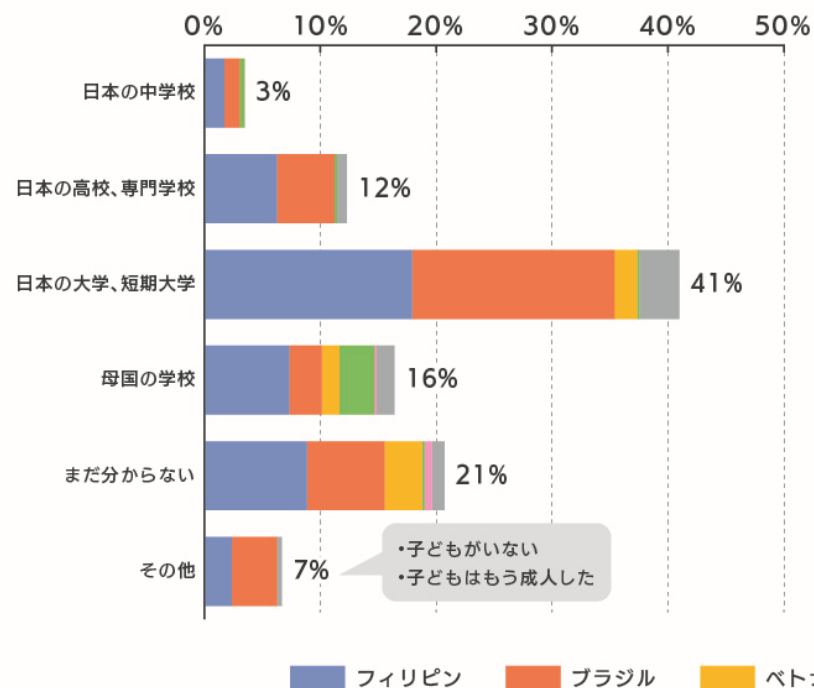


出典:令和4年度外国人市民アンケート

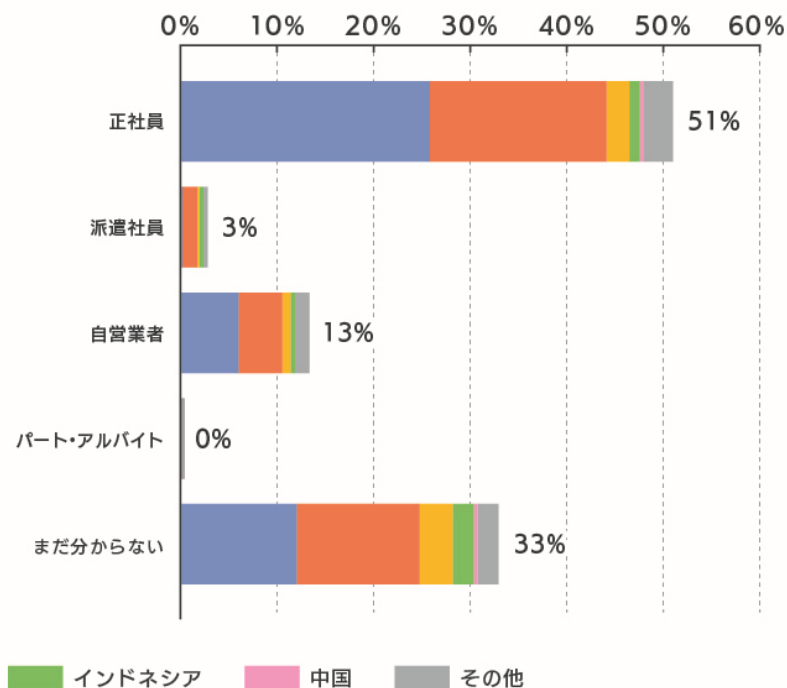
⑩外国人市民の生活について(その3)

考察 外国人市民の多くの保護者が、こどもに高校や大学を卒業してほしいと望んでいます。また、正社員として就労し、日本で安定した暮らしを確保してほしいと望んでいます。こどもたちの活躍する場を広げるためにも、高校、大学へ進学するための土台づくりを支援する必要があると考察します。

希望するこどもの学歴 n=467



希望する子どもの就労形態 n=467

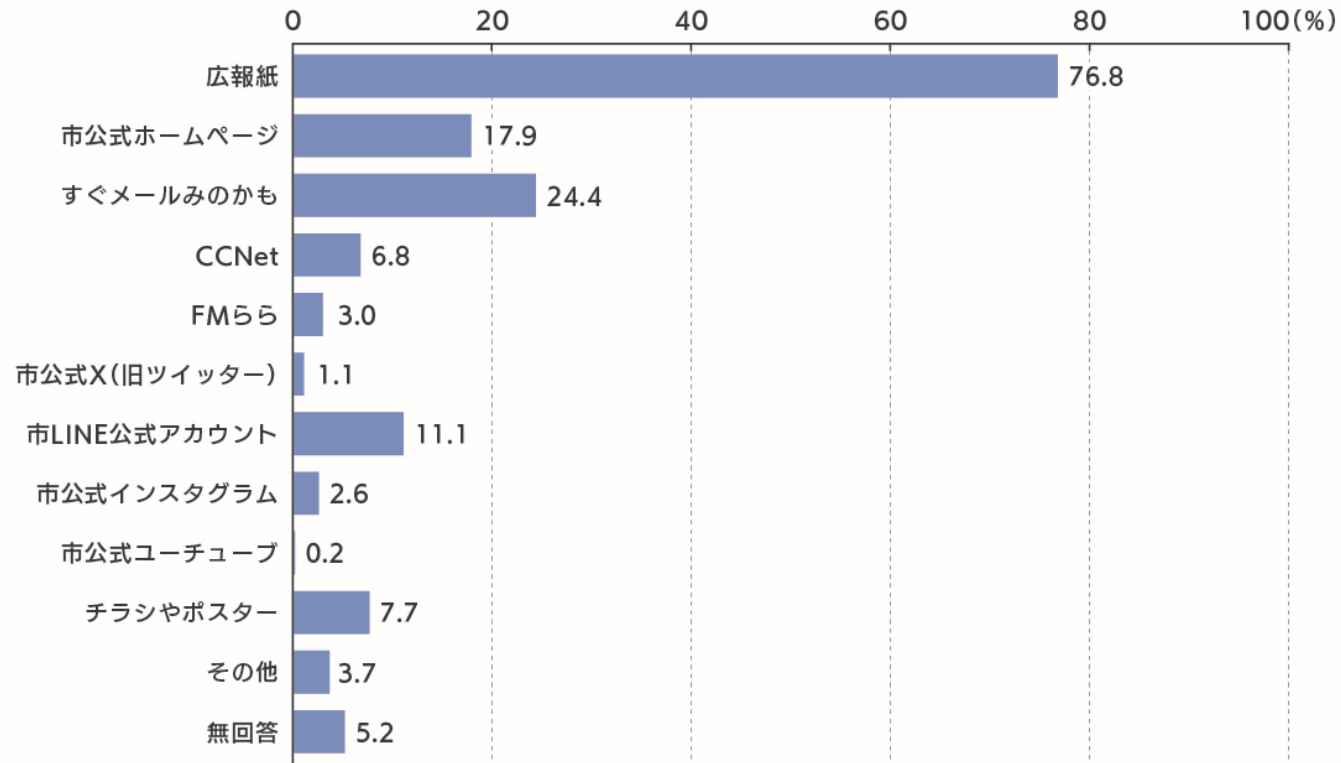


出典:令和4年度外国人市民アンケート

⑪行政情報の入手手段

考察 SNS等を活用するなど、さまざまな媒体から情報を発信していますが、広報紙による情報入手が圧倒的に多い結果となりました。SNS等で発信していることがまだ定着していないと考えられ、今後は登録人数を増加するための取組が必要です。

n=542

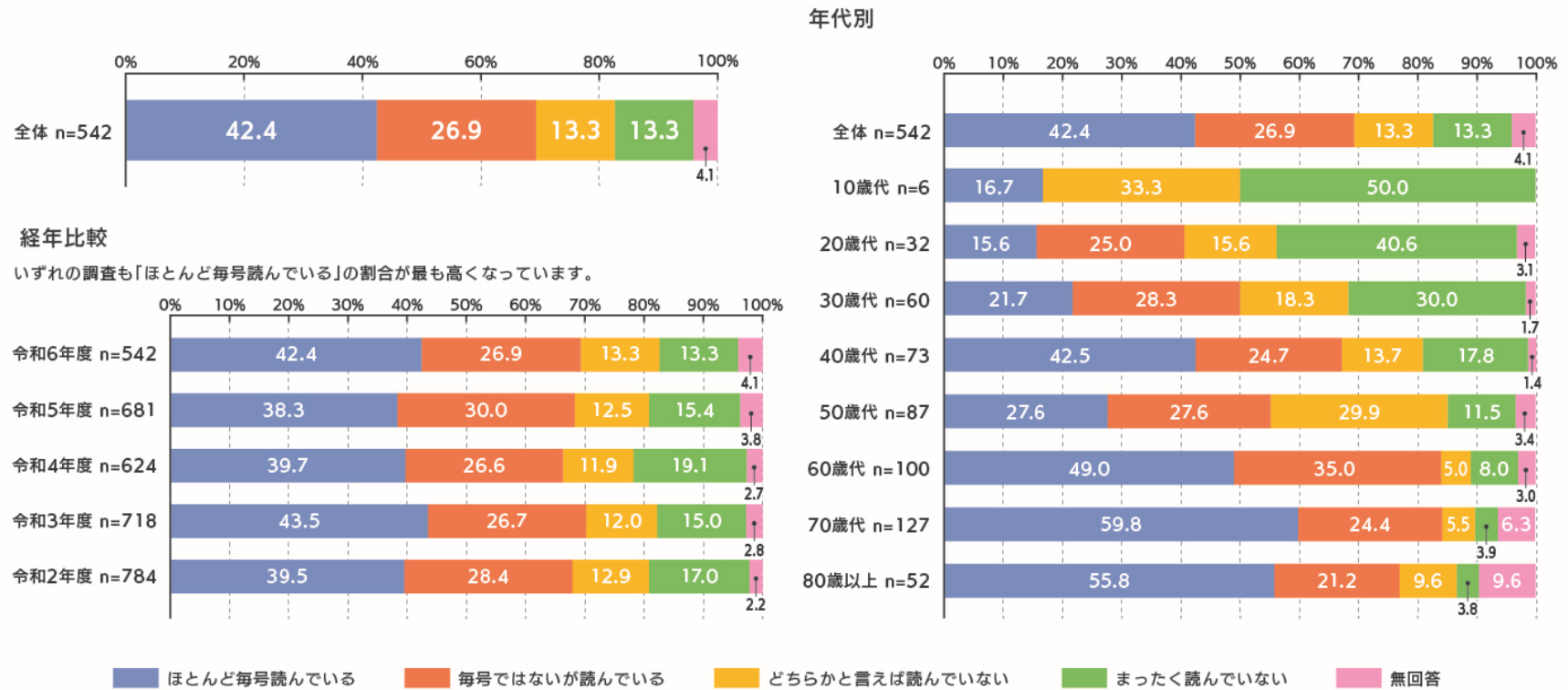


出典:令和6年度市民満足度調査

⑫広報みのかもを読んでいるか

考察

10代、20代は半数近くが広報紙を読んでいない結果となっています。若い世代が主に情報を入手する手段を把握し、その手法での発信を強化することで、全世代に満遍なく情報が届くような体制づくりが必要です。



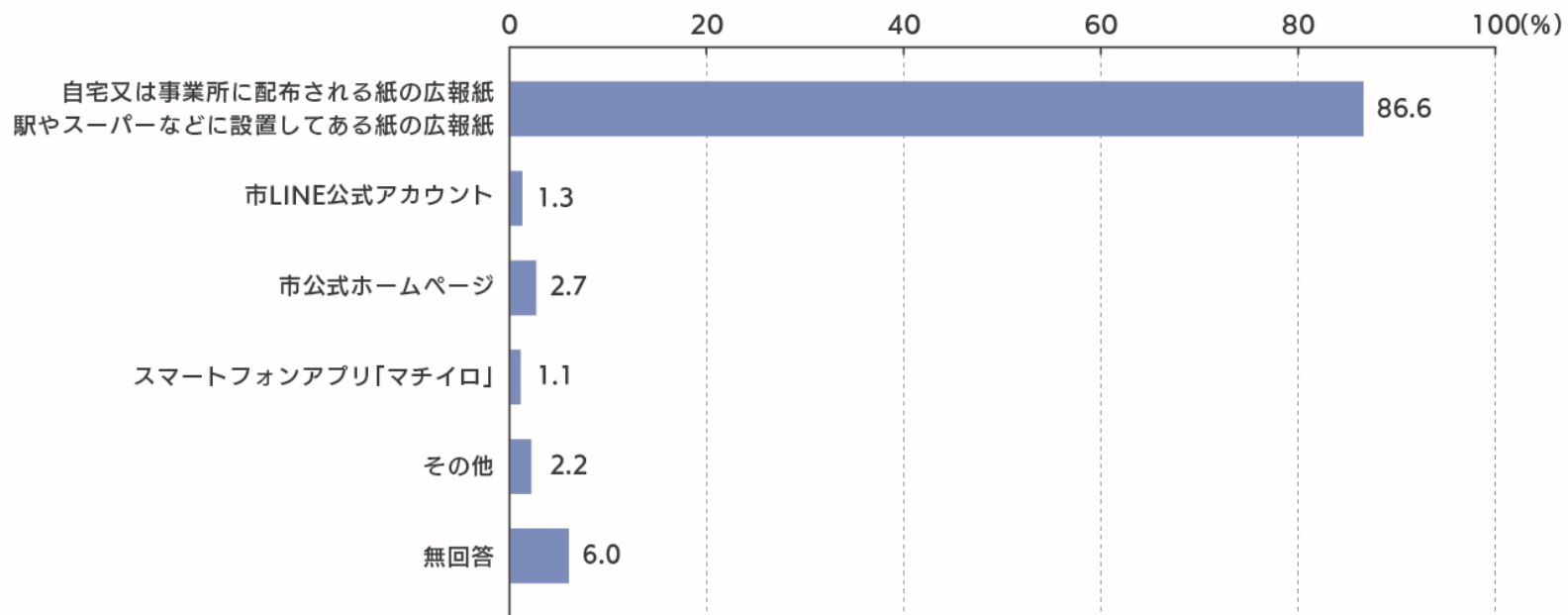
出典: 令和6年度市民満足度調査

⑬広報みのかもをどのような形で読んでいるか

考察

広報紙を読んでいる市民は、主に自宅等に配布されるものや、市内各所に設置しているものを読んでおり、市ホームページなどの電子媒体から読む割合は低い結果となりました。紙媒体での周知も大切だと考えながら、電子媒体であればいつでもどこでも広報紙を読むことができるという利便性の良さを広く周知していく必要があります。

n=448

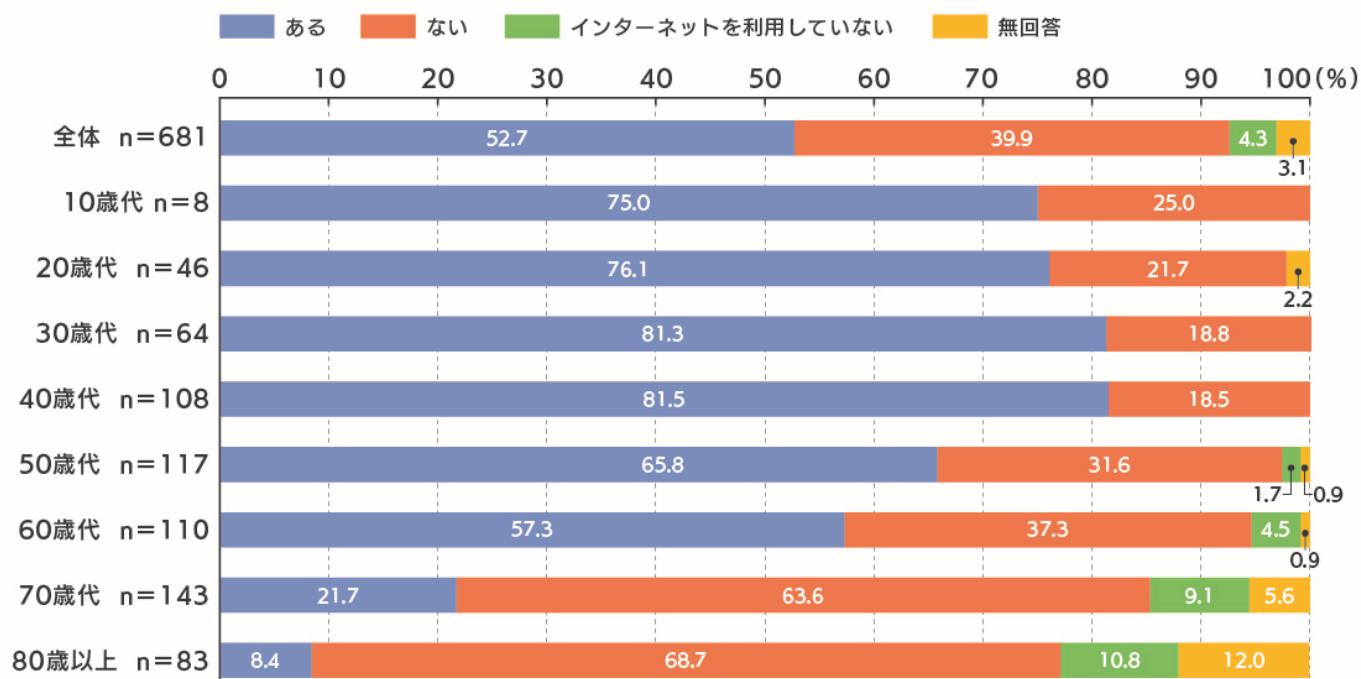


出典:令和6年度市民満足度調査

⑭オンラインを活用した手続き・申込みについて(有無)【日常】

考察

近年、販売店に行って購入しなくても、ネット販売の普及・拡大により、オンラインで手続き・申込みが身近になりました。幅広い年代でオンラインを活用しているため、行政も時代の変化に沿った市民サービスを展開することが必要です。

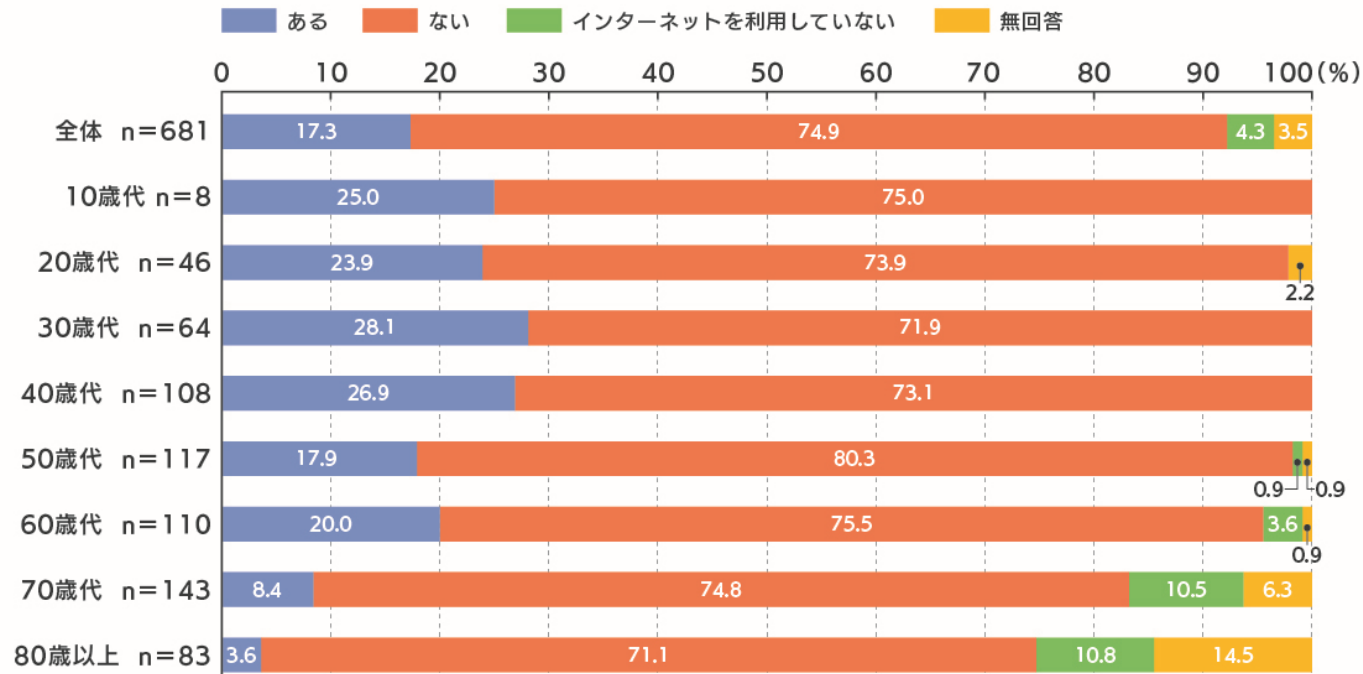


出典:令和5年度市民満足度調査

⑮オンラインを活用した手続き・申込みについて(有無)【市役所へ】

考察

「⑭オンラインを活用した手続き・申込みについて【日常】」の設問において、幅広い世代にわたり多くの市民がオンラインを活用したことがあるとの結果でしたが、市役所の手続き・申込みに対してオンラインを活用したことがある割合は低い結果でした。オンラインで手続きできる業務がまだ一部であることや、オンラインで手続きができるということが広く伝わっていないことなどが要因として考えられます。



出典:令和5年度市民満足度調査

第3期 美濃加茂市 まち・ひと・しごと 創生総合戦略

概要版

美濃加茂市の現状と 解決を図るべきポイント

本市の人口は、工業団地や住宅団地の造成・分譲、鉄道や基幹道路の整備、民間事業者による宅地開発や外国人人口の増加等を背景に、順調に増加してきました。今後も人口は増加傾向であり、2035年頃にピークを迎え、その後緩やかに減少するものと予測されます。

本市の人口は成熟期を迎えつつあり、人口構造の変化に伴い、地域産業を支える担い手が減少し、労働人口の不足が見込まれます。



基本方針

本戦略は、「家庭教育」、「幼児教育」、「学校教育」、「社会教育」など、様々な分野の教育に、子育て支援に関する政策も含め、「広義の教育」として注力し、美濃加茂市ならではの環境をいかしながら、こども達の感性を磨く取組を実施していきます。

また、美濃加茂市が「魅力あるまち」であるということを実感され、市外からも認識されることを目的とし、市民のウェルビーイング(満足度・幸せ度)向上により、若い世代の定住や、市外からの転入を促進します。

計画期間

令和7(2025)年度から
令和11(2029)年度までの

5年間

政策分野① 人の未来をつくる

KPI 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合

① 地域教育推進事業

小学生低学年を対象とした学習支援や居場所づくりを実施します。

② 次世代定着人材確保種まき事業

小中学生を対象に地域の企業と働く人の魅力を伝え、地元就業への関心を促します。

③ 若者と未来をつなぐ事業

若者が地域と関わりながら取り組む活動を支援します。

④ 学習活用事業

文化の森を活用し、博学連携による子ども達の学びを支援します。

⑤ 科学のふしぎ解決学習推進事業

科学の魅力に触れることで、自ら解決しようとする探究心を高めます。

⑥ 豊かな体験推進事業

地域の人々と関わりながら、生物多様性の保全に取り組むプログラムを提供します。

⑦ 生物多様性

地域連携促進事業

地域の人々と関わりながら、生物多様性の保全に取り組むプログラムを提供します。

⑧ 「みる」

スポーツ推進事業

トップアスリートを小中学校に派遣し、夢の大切さやスポーツの楽しさを伝えます。

⑨ 教育相談・

適応指導教室推進事業

児童生徒の居場所づくりと学校生活への適応力および学力の向上を支援します。

⑩ 参加支援事業

多様な人々が相互交流できる機会を創出し、段階的な社会への参加を支援します。

⑪ プレスクール事業

就学前の児童を対象に、日本語や生活習慣の習得を支援します。

⑫ のぞみ教室推進事業

学校生活に必要な日本語や文化、基礎的・基本的な学力の習得を支援します。

⑬ 子育て支援事業

子育て不安の軽減、子育ての楽しさを感じられるプログラムを実施します。

⑭ 幼児療育支援事業

早期発見と早期支援を充実させ、多種多様な障がいに対応する療育支援を実施します。

⑮ 保育園 ICT活用事業

専用アプリによる保育士の資質向上と便利で安心される保育環境構築を実現します。

⑯ 里山保育事業

豊かな自然をフィールドに、自分と他者を大事に思える心を育む保育を推進します。

政策分野② 人の流れをつくる

KPI 市HPアクセスユーザー数

① 里山活用事業

地域産業活性のモデル地区において、本来の里山を取り戻す取組を実施します。

② 里山まちづくり事業

里山に関する情報発信や里山を体験できる取組を実施します。

③ 古民家等による地域資源活用事業

シェア工房を活用し、里山の担い手育成や里山資源の活用を推進します。

④ k i s o ジオパークにぎわい創出事業

木曾川周辺の自然を活用した自然体験学習や現代アートに触れる機会を創出します。

⑤ かわまちづくり整備事業

イベント開催を通じてにぎわいと憩いの場を創出し、河川エリアを盛り上げます。

⑥ 中山道観光推進事業

町並みや文化をいかした宿場観光や地域交流によるにぎわいを創出します。

⑦ 牧野ふれあい広場事業

気軽に安全で楽しくスポーツを親しむことができる場所を提供します。

⑧ 国際交流事業

海外姉妹都市との交流事業を通じて、多様な視点をもった青少年の育成に取り組めます。

⑨ 移住して暮らし始めるための支援事業

情報発信や空き家バンク制度の運営などにより、移住を希望する方を支援します。

⑩ 女性活躍推進事業

相談窓口やセミナーをとおして、女性が笑顔で、輝いて、夢を叶えられるよう支援します。

⑪ 姫Biz戦略事業
起業に関する伴走型支援やセミナー等の開催により、起業創業を支援します。

⑫ あい愛バス運行事業
より良い公共交通網の整備を進め、誰でも利用しやすい交通手段を確保します。

⑬ スマホ市役所事業
スマートフォンから利用できる市役所の様々なサービスを実現します。

⑭ シティプロモーション事業
市の魅力を市内外に届け、美濃加茂市を選んでもらうことにつながります。



第3期美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、「本編」「資料編」「事業編」に分かれています。

各編の詳細は市役所ホームページから確認できます。

<https://www.city.minokamo.lg.jp/soshiki/26/15681.html>